

## Gilgit 写本 *Larger Prajñāpāramitā* の 翻刻研究(2) : fols. 38r-53r

大乘經典思想研究会

本稿では、前稿(大乘經典思想研究会[2021])に引き続き、ギルギット写本般若経(The Gilgit manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā*, 以下 LPG)の transliteration を提示する。本年度は Zacchetti [2005] および前稿が公開した箇所(fols.1r-27v, 27v- 37v)に続く、fols. 38r-53r の transliteration を公開する。当該箇所は鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜経』第 5-8 章、竺法護訳『光讚経』第 4-7 章に相当する。

当該写本は National Archives of India において、シリアルナンバー 24, 25, 28 として保存されている。所謂 Gilgit/Bamiyan type I (丸形グプタ文字)で書写されており、奥書から 7 世紀の書写であると見做される。また当初 307 folios から構成され、そのうち 10 folios が散逸していると指摘されている。

Conze[1974]によって、当該写本は『二万五千頌般若』『一万八千頌』の一部が連続して筆写されたものと見做されていた。その一部は Conze [1962 and 1974] によって、『一万八千頌般若』として校訂がなされた(fols. 218v1-263, 265r6-308r9)<sup>1</sup>。しかし Zacchetti [2005] によって、別々のテキストと考えられてきたこれらの写本が、同一の般若経テキストの写本であることが確認された。さらに 2016 年、創価大学国際仏教学高等研究所より、ネパール系『二万五千頌般若』サンスクリット校訂本・チベット語訳・漢訳諸本の並行箇所のロケーションを付した、当該写本の高精度の写真版(Karashima et al. [2016])が出版されている<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> Conze の校訂した部分のうち、fols. 218-263 は現在 National Archives of India にはなく、Karashima et al. [2016: vii]によれば、パキスタン・カラチの国立博物館に保存されているという。また Sferra[2008: 53]によれば、当該箇所の folio のマイクロフィルムがタッチコレクションに保存されている。一方、Karashima et al. [2016: vii]はこの指摘を誤りとしてタッチコレクションに当該写本は含まれないとするが、本研究会では未だ確認していない。

<sup>2</sup> 本研究は Karashima et al. [2016]の成果に基づいて成立している。故辛嶋静志教授をはじめ、同書に携わられた全ての方々に深く感謝致します。なお写本の folio 毎の詳細、先行研究については、同書および前稿を参照されたい。

既に校訂がなされているネパール系『二万五千頌般若』に比して、LPG は後世の論書に基づく改変がなされず、漢訳諸本に近い姿を留める大品系般若経のサンスクリット本として重要である。本研究では、LPG の全体の翻刻を公開することで、鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜経』（別名『大品般若経』）をはじめとする大品系般若経の漢訳諸本の新たな研究基盤を構築することを目指す。またサンスクリット本『十万頌般若』・チベット語訳『十万頌般若』デルゲ版・『大般若波羅蜜多経』初会のロケーションを記載することにより、拡大般若経の包括的研究を視野に入れる。

本稿においては、LPG を『十万頌般若』サンスクリット本およびネパール系『二万五千頌般若』と対照させ、注において異読を提示した。また鳩摩羅什訳『摩訶般若波羅蜜経』の並行文を提示した。異読の提示においては、半母音の交替 (r/ri), アヌスヴァーラおよびヴィサルガの欠落など、仏教混交梵語に一般的な特徴については注記していない。また Edgerton[1953]をはじめとする先行研究が既に指摘している語形についても、訂正・注記せずに留めた。なお folio 毎の諸本の並行箇所のリケーションについては、前稿に引き続き Karashima et al. [2016] より転載している。

LPG は、後世の論書に基づく改変がなされていない拡大般若経のサンスクリット本として、『十万頌般若』サンスクリット本と共通している。前稿で指摘したように、後世に再編集されたネパール系『二万五千頌般若』に比して、両文献は構文・中期インド語形などが一致する。

本稿で取り扱う範囲では、LPG は fol. 40r2 迄が第 1 章、fol. 50v7 迄が第 2 章、fol. 53r13 迄が第 3 章に分けられている。係る第 3 章迄の章立てについても、LPG と『十万頌般若』サンスクリット本が一致していることが確認される。両文献は章毎のタイトルを記していない点も同じである<sup>3</sup>。また大品系般若経のチベット語訳であるカンギュル所収『二万五千頌般若』『一万八千頌般若』も、

<sup>3</sup> LPG fol. 40r2: prajñāpāramitāyāḥ prathamāḥ parivarttaḥ, ŚsP(Gh): iti śatasāhasrikāḥ prajñāpāramitāyāḥ prathamāḥ parivarttaḥ; LPG fol.50v7: prajñāpāramitāyāḥ dvitīyāḥ parivarttaḥ, ŚsP(Gh): śatasāhasasryāḥ prajñāpāramitāyā dvitīyāḥ parivarttaḥ; LPG fol. 53r13: prajñāpāramitāyāḥ tritīyāḥ parivarttaḥ, ŚsP(Gh): śatasāhasryāḥ prajñāpāramitāyāḥ tritīyāḥ parivarttaḥ.

LPG およびサンスクリット本『十万頌般若』と同一の章立てとなっている。

係る大品系般若経諸本のうち、LPG がどのテキストに近接しているのかは未だ確認されていない<sup>4</sup>。本稿では、LPG fol. 51r-v に列挙される三昧の名称について、LPG およびネパール系『二万五千頌般若』と鳩摩羅什訳『大品般若経』、玄奘訳『大般若波羅蜜多経』（別名『大般若経』）第三会とを比較し、別表に纏めた。

その結果、いくつかの出入りはあるものの、LPG に 32 ある三昧のうち、①ネパール系『二万五千頌般若』に対応がなく、LPG と漢訳諸本のみに挙げられる三昧が 3 点認められた<sup>5</sup>。また② LPG と漢訳諸本に対応がなく、ネパール系『二万五千頌般若』のみに挙げられる三昧が 2 点認められた<sup>6</sup>。①と②から、当該箇所でも、ネパール系『二万五千頌般若』に比して LPG と漢訳諸本が近接していることが窺われる。

さらに③ LPG およびネパール系『二万五千頌般若』の最後に挙げられ、漢訳諸本のうち『大般若経』第三会のみに対応がある三昧が 3 点認められた<sup>7</sup>。『大般若経』第二会を含め、他の漢訳諸本はその直前の三昧までで列挙を終えている<sup>8</sup>。そのことから、当該箇所では、LPG およびネパール系『二万五千頌般若』と『大般若経』第三会は増広箇所を共有していると考えられる。

上記の比較から、LPG は、少なくとも fol. 51 に列挙される三昧の名称については、漢訳諸本のうち『大般若経』第三会に近接していると見做し得る。しかしテキスト全体の比較検討は、依然として今後の課題となる。

本研究会は Karashima et al. [2016] の編著者・協力者をはじめとする研究者を中心に構成されている。メンバーは以下の通りである：

- ・伊久間洋光（総合仏教研究所研究員・研究会代表）
- ・玉井達士（一般社団法人セリンディア研究所代表理事）
- ・鈴木健太（北海道武蔵女子短期大学教授）

4 大品系般若経の漢訳諸本およびチベット語訳諸本の詳細については、前稿を参照されたい。

5 LPG: rājamudrāṃ samādhim, sarvadharmajñānādhivāsanapraveśaṃ samādhim\*, daśadigvyavalokitam samādim\*.

6 PvsP(K): gaganagañjamudraṃ samādhim, sarvadharmajñānamudrāpraveśaṃ samādhim.

7 LPG: sarvakleśanirdahanam samādhim\*, caturmārabalanirākaraṇam samādhim\*, daśabalabalodgataṃ samādhim\*.

8 LPG: dhvajāgrakeyūram samādhim\*.

- ・庄司史生（立正大学准教授）
- ・宮崎展昌（鶴見大学仏教文研究所准教授）
- ・大塚恵俊（本学非常勤講師）
- ・横山裕明（総合仏教研究所主任）
- ・名取玄喜（真言宗豊山派総合研究院宗学研究所研究員）
- ・木村美保（総合仏教研究所研究員）
- ・張美僑（国際仏教学大学院大学博士後期課程）
- ・児玉瑛子（大正大学大学院博士後期課程）

役割分担として、宮崎展昌氏・張美僑氏が鳩摩羅什訳並行箇所を読み・句読点を提示し、鈴木健太氏が『大般若波羅蜜多經』初会、庄司史生氏がチベット語訳『十万頌般若』デルゲ版、伊久間・鈴木氏がサンスクリット本『十万頌般若』のロケーション同定を行った。また伊久間・玉井達士博士が読みの提示・スクライバルエラー修正等を行い、定期研究会で写本プレートと合わせ全員で検討している。

なお、本研究は JSPS 科研費 JP20H01185 の助成を受けている。

別表 Gilgit 写本 (LPG fol.51) とネパール系『二万五千頌般若』(PvsP(K)), 鳩摩羅什訳『大品般若經』(Kj), 玄奘訳『大般若經』第三会 (XzIII) における三味の名称の比較<sup>9</sup>

LPG fol. 51r-v	PvsP(K)	Kj	Xz(III)
siṃhaviḥkrīḍitaṃ samādhīṃ	siṃhaviḥkrīḍitaṃ samādhīṃ	師子遊戲三昧	師子遊戲等持
siṃhaviḥjṛmbhitaṃ samādhīṃ	siṃhaviḥjṛmbhitaṃ samādhīṃ	師子奮迅三昧	師子奮迅等持
śūraṃgamaṃ samādhīṃ	śūraṃgamaṃ samādhīṃ	首楞嚴三昧	健行等持
ratnamudrāṃ samādhīṃ	ratnamudraṃ samādhīṃ	寶印三昧	寶印等持

<sup>9</sup> 複合語の一部に差異がある場合でも、元々同一の名称であったと見做し得る場合には、同じ行に収めた。複合語における差異は下線で示している。

candraprabhaṃ samādhiṃ	candraprabhaṃ samādhiṃ	妙月三昧	月光等持
candradhvajaketuṃ samādhiṃ	candradhvajaketuṃ samādhiṃ	月幢相三昧	月幢相等持
sarvadharmamudrāgataṃ samādhiṃ	sarvadharmamudrāgataṃ samādhiṃ	一切法印三昧	入一切法印等持
avalokitamudrāṃ samādhiṃ	avalokitamudraṃ samādhiṃ	觀印三昧	觀印等持
dharmadhātuniyataṃ samādhiṃ	dharmadhātuniyataṃ samādhiṃ	畢法性三昧	法界決定等持
niyatadhvajaketuṃ samādhiṃ	niyatadhvajaketuṃ samādhiṃ		決定幢相等持
		畢住相三昧	
vajropamaṃ samādhiṃ	vajropamaṃ samādhiṃ	如金剛三昧	金剛喻等持
sarvadharmapraveśamukhaṃ samādhiṃ	sarvadharmapraveśamukhaṃ samādhiṃ	入一切法門三昧	入諸法門等持
samādhirājaṃ samādhiṃ*	samādhirājaṃ samādhiṃ	三昧王三昧	等持王等持
rājamudrāṃ samādhiṃ		王印三昧	王印等持
	gaganagañjamudraṃ samādhiṃ		
valavyūhaṃ samādhiṃ	balaviśuddhaṃ samādhiṃ	淨力三昧	力嚴等持
samudgataṃ samādhiṃ*	samudgataṃ samādhiṃ	高出三昧	
			寶篋等持
sarvadharma-niruktiniyatapraveśaṃ samādhiṃ	sarvadharma-niruktiniyatapraveśaṃ samādhiṃ	必入一切辯才三昧	入一切法言詞決定等持

sarvadharmajñānādhivāsana-praveśaṃ samādhim*		入諸法名三昧 (*sarvadharmajñānādhivācana-praveśaṃ?) <sup>10</sup>	入一切法智安受等持
	sarvadharmajñānamudrā-praveśaṃ samādhim		
daśadigvyavalokitaṃ samādhim*		觀十方三昧	觀察十方等持
sarvadharmamukhamudrāṃ samādhim*	sarvadharmamudrā-dhāraṇīmukhaṃ samādhim	諸陀羅尼門印三昧	一切法印陀羅尼門等持
sarvadharmāsampramo[ṣ]aṃ samādhim	sarvadharmāsampramoṣaṃ samādhim	一切法不忘三昧	不忘諸法等持
sarvadharmasamavasara[ṇā](kā)ramudraṃ sa[mā]dhim	sarvadharmasamavasaraṅkāramudraṃ samādhim	攝一切法聚印三昧	一切法等趣行相印等持
ākāśasthānasthitaṃ samādhim*	ākāśāvasthitaṃ samādhim	虛空住三昧	住虛空處等持
trimaṇḍalapariśuddhaṃ samādhim*	trimaṇḍalapariśuddhiṃ samādhim	三分清淨三昧	三輪清淨等持
acyutābhijñāṃ samādhim*	acyutānugāminyabhijñāṃ samādhim	不退神通三昧	隨順不退神通等持
pātragata(ṃ) samādhim*	pātragataṃ samādhim	出鉢三昧	器中涌出等持
dhvajāgrakeyūraṃ samādhim*	dhvajāgrakeyūraṃ samādhim	幢相三昧	勝定幢相等持
sarvakleśanirdhanaṃ samādhim*	sarvakleśanirdhanaṃ samādhim		降伏煩惱等持
caturmārabalanirākaraṇaṃ samādhim*	caturmārabalavikaraṇaṃ samādhim		破四魔軍等持
jñānolkāṃ samādhim*	jñānolkāṃ samādhim		
daśabalalodgataṃ samādhim*	daśabalodgataṃ samādhim		成就十力等持

10 入諸法名三昧 (\*sarva-dharma-jñānādhivācana-praveśaṃ?): XzII: 入一切法增誦三摩地。

ākāśāsaṃgavimuktinirūpa- lepaṃ samādhim*	ākāśāsaṃganiruktinirūpalepaṃ nāma samādhim		
---	---	--	--

### SYMBOLS USED IN THE transliteration

- + lost *akṣara*
- () restored *akṣara*
- [ ] damaged *akṣara*
- < > omitted *akṣara*
- << >> interlinear correction
- { } superfluous *akṣara* or part of it
- {{ }} cancelled by correction mark
- .. illegible *akṣara*
- . single element thereof
- /// leaf broken off here
- | *daṇḍa*
- || double *daṇḍa*
- punctuation mark
- : punctuation mark for *visarga*
- \* *virāma*
- ' *avagraha*
- string hole
- 「」 quotation marks in the Chinese version
- punctuation mark in the Chinese version, separating items in a list

## BIBLIOGRAPHY, ABBREVIATIONS AND SIGNS

$\beta$  = In AdsP (Tib.S) ga, there are two folios which are numbered 152. The first one is indicated as  $152\alpha$  and the second one as  $152\beta$  .

Bapat, P. V.

1949 "Another valuable collection of Buddhist Sanskrit Manuscripts", in: *Annals of the Bhandarkar Oriental Institute* (Poona) 30, pp. 241–253.

BLSF = *Buddhist Manuscripts from Central Asia: The British Library Sanskrit Fragments*, editors-in-chief, Seishi Karashima and Klaus Wille, Tokyo, vol. I (2006), vol. II (2009), vol. III (2015): International Research Institute for Advanced Buddhology, Soka University.

BMSC = *Manuscripts in the Schøyen Collection: Buddhist Manuscripts*, vol. I (2000), vol. II (2002), vol. III (2006), ed. Jens Braarvig et al., Oslo: Hermes Publishing.

Choong, Yoke Meei

2006 *Zum Problem der Leerheit (śūnyatā) in der Prajñāpāramitā*, Frankfurt: Peter Lang (Europäische Hochschulschriften).

Conze, Edward

1962 *The Gilgit Manuscript of the Aṣṭādaśasāhasrikāprajñāpāramitā: Chapters 55 to 70 Corresponding to the 5th Abhisamaya*, edited and translated, Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente (SOR 26).

1974 *The Gilgit Manuscript of the Aṣṭādaśasāhasrikāprajñāpāramitā: Chapters 70 to 82 Corresponding to the 6th, 7th, and 8th Abhisamayas*, edited and translated, Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente, 1974 (SOR 46).

1978 *The Prajñāpāramitā Literature*, 2nd ed., rev. and enl., Tokyo: The Reiyukai (Bibliographia Philologica Buddhica Series Maior, I).



Daijō Kyōten Shisō Kenkyūkai 大乘經典思想研究会

2021 Gilgit Shahon *Larger Prajñāpāramitā* no Honkoku Kenkyū Gilgit 写本 *Larger Prajñāpāramitā* の翻刻研究, *Taishō Daigaku Sōgō Bukkyō Kenkyūjo Nenpō* 大正大学綜合仏教研究所年報, vol. 43, Tokyo.

Dutt, Nalinaksha

1934 *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, London: Luzac (Calcutta Oriental Series, no. 28).

1959 *Gilgit Manuscripts*, vol. 4, Calcutta, Srinagar; Delhi 2 1984: Sri Satguru Publications.

Edgerton, Franklin

1953 *Buddhist hybrid sanskrit grammar and dictionary, Vol. 1: Grammar*, New Haven: Yale University Press.

FE = Raghu Vira and Lokesh Chandra, *Gilgit Buddhist Manuscripts* (Facsimile Edition), 10 pts., New Delhi 1959–1974 (Śata Piṭaka Series 10).

FE (re) = Raghu Vira and Lokesh Chandra, *Gilgit Buddhist Manuscripts*, revised and enlarged compact facsimile edition, 3 vols, Delhi 1995: Sri Satguru Publications (Bibliotheca Indo-Buddhica Series 150–152).

Falk, Harry and Seishi Karashima

2012 “A first-century *Prajñāpāramitā* manuscript from Gandhāra – *parivarta* 1 (Text from the Split Collection 1)”, in: *Annual Report of The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University*, vol. XV, pp. 19–61.

2013 “A first-century *Prajñāpāramitā* manuscript from Gandhāra – *parivarta* 5 (Text from the Split Collection 2)”, *ibid.* 97–169.

von Hinüber, Oskar

1980 “Die Kolophone der Gilgit Handschriften”, in: *Studien zur Indologie und Iranistik* 5/6: 49–82 = 2009: 688–721.

2004 *Die Palola Śāhis: Ihre Steininschriften, Inschriften auf Bronzen, Handschriftenkolophone und Schutzzauber: Materialien zur*

*Geschichte von Gilgit und Chilas*, Mainz: Philipp von Zabern (Antiquities of Northern Pakistan, Band 5).

2009 Kleine Schriften, hrsg. von Harry Falk und Walter Slaje, 2 Bde, Wiesbaden 2009: Harrassowitz (Glasenapp-Stiftung 47).

2014 "The Gilgit Manuscripts: An Ancient Buddhist Library in Modern Research", in: *From Birch Bark to Digital Data: Recent Advances in Buddhist Manuscript Research: Papers Presented at the Conference Indic Buddhist Manuscripts: the State of the Field*, Stanford, June 15 – 19, 2009, ed. Paul Harrison and Jens-Uwe Hartmann, Wien: Verlag der Österreichischen Akademie der Wissenschaften (Denkschriften / Oesterreichische Akademie der Wissenschaften, Philosophisch-Historische Klasse 460) (Beiträge zur Kultur- und Geistesgeschichte Asiens, 80), pp. 79–135.

2016 "Names and Titles in the Colophon of the 'Larger Prajñāpāramitā' from Gilgit [5 figures]", in: *Annual Report of The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University*, vol. XX, pp. 129–138.

Karashima, Seisih

2010 *A Glossary of Lokakṣema's Translation of the Aṣṭasāhasrikā Prajñāpāramitā* 道行般若經詞典, Tokyo: The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University (Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica XI).

2011 *A Critical Edition of Lokakṣema's Translation of the Aṣṭasāhasrikā Prajñāpāramitā* 道行般若經校注, Tokyo: International Research Institute for Advanced Buddhology, Soka University (Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica XII).

Karashima, Seishi, Youngjin Lee, Jundo Nagashima, Fumio Shoji, Kenta Suzuki, Ye Shaoyong and Stefano Zacchetti

2016 *Mahāyāna Texts: Prajñāpāramitā Texts* (1), Tokyo: The National

Archives of India, New Delhi and The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University, Tokyo (Gilgit Manuscripts in the National Archives of India: Facsimile Edition, vol. II.1).

KT = Harold Walter Bailey, *Khotanese Texts*, 5 vols, Cambridge 1945–1963: Cambridge University Press; repr. Cambridge 1969, 1980.

Komine, Yagen 小峰弥彦, Yugen Katsuzaki 勝崎裕彦 and Shogo Watanabe 渡辺章悟

2015 *Hannyakyo Taizen* 般若経大全, Tokyo: Shunjū sha 春秋社.

Matsunami, Seiren

1965 *A Catalogue of the Sanskrit Manuscripts in the Tokyo University Library*, Tokyo: Suzuki Research Foundation.

Sferra, Francesco

2008 *Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection*, Part I, Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente (SOR 104; Manuscripta Buddhica, vol. I).

SOR = *Serie Orientale Roma*, Roma

ŚsP (Gh) = *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Ghoṣa, P., Calcutta, 1902–1914(Bibliotheca Indica).

ŚsP (K) = *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Takayasu Kimura, 4 vols, Tokyo 2009–2014: Sankibō Busshorin. II 1–II 23.

ŚsP (Tib.D) = Tibetan translation of the *Śatasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Derge block-print edition of the Kanjur, sher phyin, Tohoku, no. 8, ka 1b1-394a7, kha 1b1-402a7, ga 1b1-394a4, nga 1b1-381a7, ca 1b1-385a5, cha 1b1-382a7, ja 1b1-398a7, nya 1b1-399a7, ta 1b1-384a7, tha 1b1-387a7, da 1b1-411a7, a 1b1-395a6.

Suzuki, Kenta and Jundo Nagashima

2015 “The Dunhuang Manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā*”, in: BLSF III.2, pp. 593–821.

T = *Taishō Shinshū Daizōkyō* 大正新脩大藏經, ed. Junjirō Takakusu 高楠順次郎, Kaikyoku Watanabe 渡邊海旭, 100 vols., Tokyo 1924–1934.

Tib (Pk) = *The Tibetan Tripitaka: Peking Edition* 影印北京版西藏大藏經, ed. Daisetz T. Suzuki, 168 vols., repr. under the Supervision of Otani University, Kyoto, Tokyo 1955–1961: Tibetan Tripitaka Research Institute.

Zacchetti, Stefano

2005 *In Praise of the Light: A Critical Synoptic Edition with an Annotated Translation of Chapters 1–3 of Dharmarakṣa's Guangzan jing* 光讚經 : *Being the Earliest Chinese Translation of the Larger Prajñāpāramitā*, Tokyo: International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University (Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica, 8).

2015 “*Prajñāpāramitā Sūtras*”, in: *Brill's Encyclopedia of Buddhism: Literature and Languages (Handbook of Oriental Studies)*, ed. Jonathan A. Silk et al., Leiden: Brill, pp. 171–209.

### Abbreviations for the *Larger Prajñāpāramitā*

LPG = Gilgit manuscript of the *Larger Prajñāpāramitā* reproduced in Karashima[2015]

Cz = Conze 1974b

Dhr = Dharmarakṣa's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Guangzan jing* 光讚經 (286 C.E.), T. 8, no. 222, 147–216.

Mo = Mokṣala's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Fanguang Banre jing* 放光般若經 (291 C.E.), T. 8, no. 221, 1–146.

Kj = Kumārajīva's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Mohe Banre Boluomi jing* 摩訶般若波羅蜜經 (404 C.E.), T. 8, no. 223, 217–424.

Xz (I) = Xuanzang's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*,

namely the *Da Banre Boluomiduo jing, chuhui* 大般若波羅蜜多經, 初會 (660-663 C.E.), T. 5-6, no. 220,

Xz (II) = Xuanzang's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Da Banre Boluomiduo jing, dierhui* 大般若波羅蜜多經, 第二會 (660-663 C.E.), T. 7, no. 220, 1-426.

Xz (III) = Xuanzang's Chinese translation of the *Larger Prajñāpāramitā*, namely the *Da Banre Boluomiduo jing, disanhui* 大般若波羅蜜多經, 第三會 (660-663 C.E.), T. 7, no. 220, 427-761.

PvsP (K) = *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Takayasu Kimura, 6 vols, Tokyo 1986-2009: Sankibō Busshorin.I 1-VIII 179

PvsP (D) = *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, ed. Nalinaksha Dutt, London 1934: Luzac (Calcutta Oriental Series, no. 28).

AdsP (Tib.U) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Ulaanbaatar manuscript version of the Kanjur, sher phyin, no. 11, ka 1b1-352a8, kha 1b1-382a7, ga 1b1-360a8.

AdsP (Tib.S) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Stog Palace manuscript version of the Kanjur, no. 13, ka 1b1-382a7, kha 1b1-399a4, ga 1b1-392a7.

AdsP (Tib.Pk) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Peking block-print edition of the Kanjur, vol. 19, 205-318, vol. 20, 1-205, sher phyin, ni 1b1-282a8, pi 1b1-281a8, phi 1b1-223b8.

AdsP (Tib.D) = Tibetan translation of the *Aṣṭādaśasāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Derge block-print edition of the Kanjur, sher phyin, Tohoku, no. 10, ka 1b1-300a7, kha 1b1-304a7, ga 1b1-206a7.

PvsP (Tib.U) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Ulaanbaatar manuscript version of the Kanjur, sher phyin, no. 10, ka 1b1-364a8, kha 1b1-353a8, ga 1b1-383a7, nga 1b1-362a7.

PvsP (Tib.S) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Stog Palace manuscript version of the Kanjur, no. 12, ka

(84)

1b1-403a7, kha 1b1-381a7, ga 1b1-430a7, nga 1b1-394a7.

PvsP (Tib.Pk) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Peking block-print edition of the Kanjur, vol. 18, 39-323, vol. 19, 1-202, sher phyin, nyi 1b1-300a6, ti 1b1-311a4, thi 1b1-312a8, di 1b1-282a7.

PvsP (Tib.D) = Tibetan translation of the *Pañcaviṃśatisāhasrikā Prajñāpāramitā*, the Derge block-print edition of the Kanjur, sher phyin, Tohoku, no. 9, ka 1b1-382a4, kha 1b1-393a6, ga 1b1-381a5.

IOL San 1492 = Suzuki / Nagashima 2015

Choong = Choong 2006

(LPG 38r)<sup>11</sup> Dhr 161a15~b2; Mo 10b22~c2; Kj 229c8~23; Xz(II) 27a12~c13; Xz(III) 445c15~446a3; PvsP(K) I 104.28~105.22; PvsP(D) 93.3~94.2; AdsP(Tib.U) ka 72a4~b7; AdsP(Tib.S) ka 80a5~81a3; AdsP(Tib.Pk) ni 48a2~b2; AdsP(Tib.D) ka 54a5~b6; PvsP(Tib.U) ka 97a4~98b7; PvsP(Tib.S) ka 107b6~109a2; PvsP(Tib.Pk) 83b6~85a4; PvsP(Tib.D) ka 82a2~83b2

1 (pā)s(a)k(o)pās(i)kāś<sup>12</sup> ca bhagav(an)t(a)m (e)tad avocat(\*) ... [ma](hāpā)-ramiteyaṃ<sup>13</sup> bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ udārapāramiteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ yad uta

2 prajñāpāramitā • yāvad agryapāramiteyaṃ viśiṣṭapāramiteyaṃ varapravarapraṇītapāramiteyaṃ anuttarapāramiteyaṃ nirutta<ra>-pāramiteyaṃ • asamapāra-

3 miteyaṃ • asamasamapāramiteyaṃ asadrśapāramiteyaṃ ākāśapāramiteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ svalakṣaṇaśūnyatāpāramiteyaṃ

4 bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ • sarvadharmasūnyatāpāramiteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ • svabhāvasūnyatāpāramiteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahā-

5 satvānāṃ sarvaguṇaparipūrṇapā<ra>miteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ sarvaguṇasamanvāgatapāramiteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ yad uta prajñāpā-

6 ramitā • anavamardypāramiteyaṃ bhagavan bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ yad uta prajñāpāramitā • atra hi bhagavan prajñāpāramitāyāṃ carad[bh]i[r] bodhisatvair mahāsarvair a-

7 samasamaṃ dānaṃ dattaṃ diyate dāsyate • tair asamasamā dānapāramitā <paripū<ri>tā> paripūryante paripūriṣyate • tair asamasama ātmabhāva pratilabdhaḥ pratilabhyate pratilapsya-

<sup>11</sup> ŚsP(Gh) 310.18~313.6; ŚsP(Tib.D) ka 190a1~b7; Xz(I) 50c22~51c18.

<sup>12</sup> (pā)s(a)k(o)pās(i)kāś: PvsP(K), ŚsP(Gh): pāsakopāsikāś.

<sup>13</sup> avocat(\*) ... [ma](hāpā)ramiteyaṃ: PvsP(K), ŚsP(Gh): avocan (/:) mahāpāramiteyaṃ.

(86)

8 te • || te asamasamasya dharmasya lābhino jātā bhavanti bhaviṣyaṃti  
yad utānuttarāyāḥ samyaksambodheḥ || atra bhagavan prajñāpāramitāyāṃ  
caradbhir bodhisatvai ma-

9 hāsatvair asamasamaṃ śīlaṃ rakṣitaṃ rakṣyate rakṣisyate • tair  
asamasamā śīlapāramitā paripūrītā paripūryate paripūriṣyate • || yāvad  
asa«ma»samā kṣāntir bhāvitā

10 bhāvvyate bhāvayiṣyate • tair asamasamā kṣāntipāramitā paripūrītā  
paripūryate paripūrayiṣyate • || tair asamasamaṃ vīryam ārabdhaṃ  
ārabhyate ārapṣyate • tair asa-

11 masamā vīryapāramitā paripūrītā paripūryate paripūrayiṣyate • ||  
asama«sa»māni dhyānāny utpādītāni utpadyaṃte utpā«da»yiṣyatne • || tair  
asamasa-

12 mā dhyānapāramitā paripūrītā paripūryate paripūrayiṣyate • ||  
asamasamā prajñā bhāvitā bhāvvyate bhāvayiṣyate • || tair asama-

## Kj

婆塞·優婆夷、從座起、合掌白佛言「世尊、摩訶波羅蜜、是菩薩摩訶薩般若波羅蜜·  
尊波羅蜜·第一波羅蜜·勝波羅蜜·妙波羅蜜·無上波羅蜜·無等波羅蜜·無等  
等波羅蜜·如虛空波羅蜜·是菩薩摩訶薩般若波羅蜜。世尊、自相空波羅蜜、是  
菩薩摩訶薩般若波羅蜜。世尊、自性空波羅蜜、是菩薩摩訶薩般若波羅蜜·諸法  
空波羅蜜·無法有法空波羅蜜·開一切功德波羅蜜·成就一切功德波羅蜜·不可  
壞波羅蜜、是諸菩薩摩訶薩般若波羅蜜。諸菩薩摩訶薩、行是般若波羅蜜無等等  
布施、具足無等等檀那波羅蜜、得無等等身、得無等等法、所謂阿耨多羅三藐三  
菩提、尸羅波羅蜜·羶提波羅蜜·毘梨耶波羅蜜·禪那波羅蜜·般若波羅蜜、亦  
如是。世尊、本亦復行此般若波羅蜜

(LPG 38v)<sup>14</sup> Dhr 161b2~21; Mo 10c2~18; Kj 229c23~230a10; Xz(II)  
27c13~28a8; Xz(III) 446a3~25; PvsP(K) I 105.22~106.27; PvsP(D) 94.2~95.5;

<sup>14</sup> ŚsP(Gh) 313.7~316.5; ŚsP(Tib.D) ka 190b7~193b5; Xz(I) 51c18~53a27.



AdsP(Tib.U) ka 72b7~74a2; AdsP(Tib.S) ka 81a3~82b2; AdsP(Tib.Pk) ni 48b2~49b1; AdsP(Tib.D) ka 54b6~55b4; PvsP(Tib.U) ka 98b7~100a4; PvsP(Tib.S) ka 109a2~111a5; PvsP(Tib.Pk) nyi 85a4~86a5; PvsP(Tib.D) ka 83b2~84b3

1 samā prajñāpāramitā paripūritā paripūryate paripūrayiṣyate • || tair asamasama ātmabhāvaḥ pratilabdhaḥ pratilabhyate prati-

2 lapsyate • || te asamasamasya dharmasya lābhino jātā bhavanti bhaviṣyanti • yad utānuttarāyāḥ samyaksambodheḥ || atraiva ca bhagavan prajñāpā-

3 ramitāyāṃ carann asamasamasya rūpasya lābhī jātaḥ asamasamāyā vedanāyā asamasamāyā [saṃ]jñāyāḥ asamasamānāṃ saṃskārāṇāṃ (')sama{sa}-

4 samasya vijñānasya lābhī jāta asama«sa»māṃ bodhim abhisam- buddhyāsamāsamān dharmacakram pravaritavān\* atītā api buddhā bhagavanto (')nāgatā api buddhā bhagavantaḥ pra-

5 tyutpannā api buddhā bhagavanto (')traiva prajñāpāramitāyāṃ caranto (')samāsamasya rūpasya lābhino jātā bhavaṃti bhaviṣyaṃti • asamasamāyā vedanāyāḥ asamasā-

6 māyā saṃjñāyāḥ asamasamānāṃ saṃskārāṇāṃ asamasamasya vijñānasya lābhino jātā bhavaṃti bhaviṣyaṃti cāsamāsamāṃ bodhim abhisam[bu]ddh- [y]āsamāsamāṃ dharmacakram

7 pravartitavantaḥ pravartayaṃti pravartayiṣyaṃti • tasmāt tarhi bhagavan bodhisatvair mahāsatvai sarvadharmāṇāṃ pāraṃ gantukāmaiḥ prajñāpāramitāyāṃ [yo]gaḥ karaṇīyaḥ nama-

8 skaraṇīyā bhagaṃs te bodhisatvā mahāsatvā sadevamānuṣāsureṇa lokena • ye (')tra prajñāpāramitāyāṃ caranti • evam ukte bhagavāns tān saṃbahu(lā)n mahāśrā-

9 vakāṃs tāṃś ca bodhisatvā<n> mahāsatvān etad avocat\* evam etat kulaputrā evam etat\* namaskaraṇīyās te kulaputra bodhisatvā mahāsatvā

(88)

sadevamānuṣāsureṇa

10 lokena ye (')tra prajñāpāramitāyāṃ caranti • || bodhisatvaṃ hi śāradvatīputra mahāsatvam āgamyā pa[r]asya lokasya loke prādurbhāvo bhavati • [d]evalokasya loke prādu-

11 rbhāvo bhavati • kṣatriyamahāsālakulānāṃ brāhmaṇamahāsālakulānāṃ gṛhapatimahāsālakulānāṃ [r]ājñāṃ cakravartināṃ cāturmahārājakāyikānāṃ devānāṃ

12 yāvad aghaniṣṭhānāṃ devānāṃ loke prādurbhāvo bhavati • srotāpannānāṃ yāvad arhatāṃ loke prādurbhāvo bhavati || pratyekabuddhānāṃ bodhisatvānāṃ tathāgatānāṃ arhatāṃ sa-

13 [my]akṣambuddhānāṃ loke prādur[bh]āvo bhavati • bodhisatvaṃ hi śāradvatīputra mahāsatvam āgamyā annasya pānasya yānasya vastrāṇāṃ śa-

## Kj

具足無等等六波羅蜜、得無等等法、得無等等色、得無等等受・想・行・識、佛轉無等等法輪、過去佛亦如是。行此般若波羅蜜、具足無等等布施、乃至轉無等等法輪。未來世佛亦行此般若波羅蜜、當作無等等布施、乃至當轉無等等法輪。以是故、世尊、菩薩摩訶薩欲度一切彼岸、當習行般若波羅蜜。世尊、是行般若波羅蜜菩薩摩訶薩、一切世間天、及人・阿修羅應當禮敬、供養」佛告衆弟子及諸菩薩摩訶薩「如是、如是、諸善男子、是行般若波羅蜜者、一切世間天及人・阿修羅應當作禮、恭敬、供養。何以故。因菩薩來故。出生人道・天道・刹利大姓・婆羅門大姓・居士大家・轉輪聖王・四天王天、乃至阿迦尼吒天、出生須陀洹乃至阿羅漢・辟支佛・諸佛。因菩薩來故、世間便有飲食・衣服・

(LPG 39r)<sup>15</sup> Dhr 161b21~c16; Mo 10c18~11a3; Kj 230a11~b2; Xz(II) 28a8~b4; Xz(III) 446a25~b18; PvsP(K) I 106.27~108.6; PvsP(D) 95.5~96.14; AdsP(Tib. U) ka 74a2~75a5; AdsP(Tib.S) ka 82b2~84a1; AdsP(Tib.Pk) ni 49b1~50a7; AdsP(Tib.D) ka 55b4~56b3; PvsP(Tib.U) ka 100a4~101a7; PvsP(Tib.S) ka

<sup>15</sup> ŚsP(Gh) 316.5~321.7; ŚsP(Tib.D) ka 193b5~197a4; Xz(I) 53a27~c11.

111a5~112b2; PvsP(Tib.Pk) nyi 86a5~87a4; PvsP(Tib.D) ka 84b3~85b2

1 (y)[y](ā)[s](a)n(o)pāśrayaprājīvi[ka]sya<sup>16</sup> ma[ṇimu](ktāśaṅkhaśi)[lā]-  
pra[vāra]rajatajātarūpasya<sup>17</sup> loke prādurbhāvo bhavati yāvanti śāradvatīputra  
bodhisatvānām mahāsatvānām

2 sarvasukhopadhānāni • divyāni ca mānuṣāṇi ca visa(ṃ)yogasu[kh]aṃ<sup>18</sup> ca  
sarvaṃ tac chāradvatīputra bodhisatvaṃ mahāsatvam āgama : tat kasya  
hetoḥ bodhisatvo mahāsatvaḥ śāradva-

3 tīputra bodhisatvacārikāṃ caran ṣaṭsu pāramitāsu caritvā satvān dāne  
niyojayati • dānan dāpayati • śīle niyojayati śīlaṃ rakṣati kṣāntiā niyojayati  
kṣāntiṃ

4 bhāvayati • vīrye niyojayati vīryam ārabhati • dhyānesu niyojayati  
dhyānāny utpādayati • prajñāṃ niyojayati prajñā bhāvayati • || tasmāt tarhi  
śāradvatīputra bodhisatvo

5 mahāsatvaḥ sarvasatvānām hitasukhāya pratipanno bhavati • atha  
bhagavāṃs tasyāṃ velāyāṃ jihvendriyaṃ mukhā<n> nirṇamayya<sup>19</sup> imaṃ  
trisāhasramahāsāhasraṃ lokadhātum sphara-

6 ti sma • || atha khalu tato jihvendriyād anekavarṇā nānāvarṇā  
arciṣo mukhadvārān ni«śca»ranti sma • niścarya pūrvasyān diśi  
gaṃgānadivālukupamān lokadhātūn mahatāvabhāseṇa spharaṃ-

7 ti sma • || evaṃ dakṣiṇasyāṃ paścimāyām uttarasyām adhistād upariṣṭād  
yāvat samantād daśasu dikṣv ekaikasyān diśi gaṃgānadivālukupamāṃ  
lokadhātūn avabhāseṇa spharaṃti sma • || atha

8 khalu pūrvasyān diśi teṣu gaṃgānadivālukupameṣu lokadhātuṣv  
aprameyāsaṃkhyeyā bodhisatvā mahāsatvās taṃ prabhāvīyūhaṃ dṛṣṭvā

<sup>16</sup> (y)[y](ā)[s](a)n(o)napāśrayaprājīvi[ka]sya: ŚsP(Gh): yyāsanopāśrayaprājīvikasya.

<sup>17</sup> ma[ṇimu](ktāśaṅkhaśi)[lā]pra[vāra]rajatajātarūpasya: ŚsP(Gh): maṇimuktāśaṅkhaśilāpravālarajatajātarūpasya.

<sup>18</sup> visa(ṃ)yogasu[kh]aṃ: ŚsP(Gh): visaṃyogasukhaṃ.

<sup>19</sup> mukhā<n> nirṇamayya: PvsP(k): jihvendriyaṃ nirṇamayitvā, ŚsP(Gh): mukhān nirṇamayya.

(90)

svakasvakeṣu buddhakṣetreṣu buddhā bhagava-

9 ntaḥ paripṛcchanti sma • kasyāyaṃ bhagavann anubhāvo yeneme  
lokadhātavo (')vabhāsenā sphuṭā te buddhā bhagavanto (')vocaṇ\* eṣa  
kulaputrā paścime digbhāge sahā nāma lokadhātu ta-

10 tra śākyamunir nāma tathāgato (')rhan samyaksāmbuddhaḥ teneyaṃ  
jihvendriyaṃ nirṇamaṃ gaṃgānadivālukopamā lokadhātavo (')vabhāsenā  
sphuṭāḥ yad uta bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ

11 prajñāpāramitādeśanatāyai evaṃ dakṣiṇas[y]āṃ paścimāyāṃ uttarasyāṃ  
adhastād upariṣṭād yāvāt samantād daśasu dikṣv ekaikasyān diśi  
gaṃgānadivālukopameṣu lokadhā-

12 tuṣu kartavyam\* || atha khalu te bodhisatvā mahāsatvās tān buddhān  
bhagavata evaṃ āhuḥ hanta vāyaṃ bhagavan gamiṣyāmas tasya bhagavataḥ  
śākyamunes tathāga-

## Kj

臥具・房舍・燈燭・摩尼・眞珠・頗梨・琉璃・珊瑚・金銀等諸寶物生。舍利弗、  
世間所有樂具、若人中、若天上、若離欲樂、是一切樂具、皆由菩薩有。何以故。  
舍利弗、菩薩摩訶薩行菩薩道時、住六波羅蜜自行布施、亦以布施成就衆生、乃  
至自行般若波羅蜜、亦以般若波羅蜜成就衆生。舍利弗、是故菩薩摩訶薩爲安樂  
一切衆生故、出現於世」

摩訶般若波羅蜜經舌相品第六

爾時、世尊出舌相遍覆三千大千世界、從其舌相出無數無量色光明、普照十方如  
恒河沙等諸佛世界。是時、東方如恒河沙等世界中、無量無數諸菩薩見是大光明、  
各各白其佛言「世尊、是誰力故、有是大光明普照諸佛世界」諸佛告諸菩薩言「諸  
善男子、西方有世界名娑婆、是中有佛名釋迦牟尼、是其舌相出大光明、普照東  
方如恒河沙等諸佛世界、南・西・北方・四維・上・下亦復如是。爲諸菩薩摩訶  
薩說般若波羅蜜故」是時、諸菩薩各白其佛言「我欲往供養釋迦牟尼佛

(LPG 39v)<sup>20</sup> Dhr 161c16~162a19; Mo 11a3~18; Kj 230b2~17; Xz(II) 28b4~c11; Xz(III) 446b18~c8; PvsP(K) I 108.6~109.13; PvsP(D) 96.14~98.2; AdsP(Tib. U) ka 75a5~76a5; AdsP(Tib.S) ka 84a2~85a5; AdsP(Tib.Pk) ni 50a7~51a4; AdsP(Tib.D) ka 56b3~57b1; PvsP(Tib.U) ka 101a7~102b3; PvsP(Tib.S) ka 112b2~114a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 87a4~88a3; PvsP(Tib.D) ka 85b2~86b3

1 tasyārhatāḥ samyaksambuddhasya darśanāya vandanāya • paryupāsānāya • teṣāṃ ca daśadikṣaṃnīpatitānaṃ bodhisatvānāṃ mahāsatvānāṃ tasyāś ca prajñāpā[ra]mi-

2 tātāyāḥ śrāvaṇāya te buddhā bhagavanta evam āhu<sup>21</sup> yasyedāniṃ kulaputrāḥ kālaṃ manyadhve • || atha te bodhisatvā mahāsatvā anekaprakārāc chatradhvajapatākāpuṣpam[āly]aga-

3 ndhaviglepanacūrṇacivarāṇi suvarṇapuṣpāṇi rūpyapuṣpāṇi ca grhītvā mahatyā t[ū]ryatādāvacarasaṃgītyā yena bhagavāṃc chākyamunis tathāgato (‘)rhan samyaksambuddhas tenopasaṃkrā

4 manti sma • || atha cāturmahārājakāyikā devaputrās trāyastriṃśā yāmās tuṣitā nirmāṇaratayaḥ parinirmitavaśavartino brahmapurohitā brahmakāyikā brahmapārṣadyāḥ parī-

5 ttābhā ābhāsvarāḥ parittaśubhāḥ apramāṇaśubhāḥ śubhakṛtsnā vṛhatphalāḥ śuddhāvāsā<sup>22</sup> sudṛśāḥ sudarśanā susprhā atapā aghaniṣṭhā devā divyāni puṣpamālyaga-

6 ndhaviglepanacūrṇāni divyāny utpalapadmakumudapuṇḍarikāni divyāni māndāravamahāmāndāravakesaratamālapatrāṇi grhītvā yena bhagavāṃc chākyamunis tathā-

7 gato (‘)rhan samyaksambuddhas tenopasaṃkrāmanti sma • || atha te bodhisatvā mahāsatvās tena devās taiḥ puṣpagandhamālyavilepanacūrṇacivaracchatradhvajapatā<kā>bhir bhagavantaṃ śākyamu-

<sup>20</sup> ŚsP(Gh) 321.8~322.19; ŚsP(Tib.D) ka 197a4~198a5; Xz(I) 53c12~56a16.

<sup>21</sup> āhu: PvsP(K): āhuḥ, ŚsP(Gh): āhuḥ.

<sup>22</sup> śuddhāvāsā: PvsP(K): śuddhābhāsā, ŚsP(Gh): śuddhāvāsā.

(92)

8 niṃ tathāgatam arhantaṃ samyaksambuddham avakiraṃti  
smābhiprakiraṃti sma • atha tāni puṣpādīny uparivaihāyasam  
abhyudgamyāsmiṃ trisāhasramahāsāhasre lokadhātāu (')nmahāt<sup>23</sup> pu-  
9 ṣpakūṭāgāraḥ saṃsthito (')bhūt\* caturaśra catusthūṇaḥ samo  
bhāgaśaḥ suvibhakto ramaṇīyo manoramaḥ atha tataḥ parśadaḥ  
prāṇakoṭīniyutaśatasahasrā-  
10 ṇy utthāyāsanebhyo yena bhagavāṃ tenāṃja[l]iṃ praṇamayya  
bhagavantam etad avocat\* vayaṃ bhagavann anāgate (')dhvany  
evaṃrūpāṇāṃ dharmāṇāṃ lābhino bhavena<sup>24</sup> yathā tathāgato (')rha-  
11 n samyaksambuddhaḥ evam eva śrāvakasamḡhaḥ pariharemaḥ evaṃ ca  
parśadi dharmaṃ deśayemaḥ yathā tathāgata etarhi dharman deśayati • ||  
atha bhagavā(ṃ)s teṣāṃ kulaputrāṇā[m]  
12 (ā)śayaṃ viditvā sarvadharmā(ṇāṃ cānutpādā)yā + + .. [y]. sarva-  
dharma[prā]durbhāvāya<sup>25</sup> kṣāntiṃ viditvā smitaṃ prādurakāriṣīt\*  
athāyusmān ānando yāvad bhagavantam etad avocat\* ko

## Kj

及諸菩薩摩訶薩、并欲聽般若波羅蜜」諸佛告諸菩薩「善男子、汝自知時」是時、  
諸菩薩摩訶薩持諸供養具・無量花蓋・幢幡・瓔珞・衆香・金銀・寶花、向娑婆世界、  
詣釋迦牟尼佛所。爾時、四天王諸天乃至阿迦尼吒諸天、各持天上天香・末香・澤香・  
天樹・香葉香・天種種蓮花青・赤・紅・白、向釋迦牟尼佛所、是諸菩薩摩訶薩  
及諸天、所散諸花、於三千大千世界虛空中、化成四柱大寶臺、種種異色莊嚴分  
明。是時、釋迦牟尼佛衆中有十萬億人、皆從座起、合掌白佛言「世尊、我等於  
未來世中亦當得如是法、如今釋迦牟尼佛・弟子・侍從・大衆、說法亦爾」是時、  
佛知善男子至心於一切諸法不生・不滅・不出・不作、得是法忍。佛便微笑、種

<sup>23</sup> (')nmahāt: PvsP(K): upariṣṭāt.

<sup>24</sup> bhavena: S.e. for bhavema? PvsP(K): bhavema, ŚsP(Gh): bhavemaḥ.

<sup>25</sup> (ā)śayaṃ viditvā sarvadharmā(ṣāṇ cānutpādā)yā + + .. [y]. sarvadharmā[prā]durbhāvāya: PvsP(K): āśayaṃ viditvā sarvadharmāṣāṃ cānutpādāyānirodhāyānabhisaṃskārāyāprādurbhāvāya, ŚsP(Gh): adhyāśayaṃ viditvā sarvadharmāṣāṇ cānutpādāyānirodhāyānabhisaṃskārāyāprādurbhāvāya.

種色光從口中。阿難白佛言

(LPG 40r)<sup>26</sup> Dhr 162a19~b20; Mo 11a18~b12; Kj 230b17~c12; Xz(II) 28c11~29a29; Xz(III) 446c8~447a23; PvsP(K) I 109.13~110.24; PvsP(D) 98.2~99.17; AdsP(Tib.U) ka 76a5~77b1; AdsP(Tib.S) ka 85a5~86b6; AdsP(Tib. Pk) ni 51a4~52a4; AdsP(Tib.D) ka 57b1~58b1; PvsP(Tib.U) ka 102b3~104a2; PvsP(Tib.S) ka 114a2~115b3; PvsP(Tib.Pk) nyi 88a3~89a6; PvsP(Tib.D) ka 86b3~87b5; IOL San 1492/04 r1~v3

1 (bha)gavaṃ hetu k(a)ḥ [p]r(a)ty(aḥ) [sm](i) .. + + + + + + + [h](a) • itānanda<sup>27</sup> pariśadaḥ prāṇakoṭīniyutaśatasahasraiḥ kṣāntīiḥ pratilabdḥa ete (')nāgate (')dhvany aṣṭābhiḥ kalpakotiḥbir bodhyaṃ-

2 gapuṣpadāmānas tathāgatā a(rhantaḥ samyaksambuddh(ā)ḥ) loke bhaviṣyamti puṣpākare kalpe • || prajñāpāramitāyāḥ prathamāḥ parivartāḥ ||<sup>28</sup> atha bhagavān āyūṣmantāṃ subhūtim āmantra-

3 yata : pratibhāti te subhūte bodhisattvānāṃ ma(hāsa)tvānāṃ prajñāpāramitāṃ ārabhyaḥ dhārmikīṃ kathāṃ kartum\* kathāṃ bodhisattvā mahāsattvāḥ prajñāpāramitā niryāyuh atha teṣāṃ bo<dhi>sattvānāṃ ma-

4 hāsattvānāṃ teṣāṃ ca mahāśrāvakāṇāṃ teṣāṃ ca d(e)vaputrāṇā{ṃ}m etad abhūt\* kiṃ punar āyūṣmān subhūtiś tānava kena svakena<sup>29</sup> prajñāpratibhāna-valādhānasattvāhena<sup>30</sup> bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ

5 prajñāpāramitāṃ upadekṣyaty atha buddhānubhāvena • || athāyūṣmān subhūtir buddhānubhāvena teṣāṃ bodhisattvānāṃ mahāsattvānāṃ teṣāṃ ca mahāśrāvakāṇāṃ teṣāṃ ca devaputrāṇāṃ cetasaiva cetaḥ

<sup>26</sup> ŚsP(Gh) 322.19~326.6; ŚsP(Tib.D) ka 198a5~200a2; Xz(I) 56a16~c8.

<sup>27</sup> [p]r(a)ty(aḥ) [sm](i) .. + + + + + + + [h](a) • itānanda: ŚsP(Gh): pratyayaḥ smitasyāviṣkarāṇe nāhetukaṃ nāpratyayaṃ buddhā bhagavantaḥ smitam āviṣkurvanti / bhagavān āha / ita ānanda.

<sup>28</sup> prajñāpāramitāyāḥ prathamāḥ parivartāḥ ||: ŚsP(Gh): iti śatasāhasrikāḥ prajñāpāramitāyāḥ prathamāḥ parivartāḥ //

<sup>29</sup> tānava kena svakena: S.e. for tāvat kena? ŚsP(Gh): tāvat kena.

<sup>30</sup> prajñāpratibhānavalādhānasattvāhena: Read prajñāpratibhānabalādhānasattvāhena.

(94)

6 parivitar-kam ājñāyāyūṣmantam śāradvatīputram āmaṇṭrayata yat kiṃcid  
āyūṣmaṇ cchāradvatīputra bhagavataḥ śrāvakā bhāṣante (')bhilapaṃty  
udīrayaṃti sarvaḥ sa tathāgatasya puruṣa-

7 kāraḥ yaś ca tathāgatena dharmo deśitaḥ sarvaḥ saddharmatayā aniruddha  
tat te{na}<sup>31</sup> kulaputrās tatra dharmadeśanāyāṃ śikṣamāṇās tān dharmatām  
sākṣātkurvanti • tathāgata evaiṣa śā-

8 radvatīputropāyayogena bodhisatvānām mahāsatvānām prajñā-  
pāramitām upadekṣyaty aviṣayo (')trāyūṣmaṇ cchāradvatīputra  
sarvaśrāvaka-pratyekabuddhānām bodhisatvānām mahāsatvānām

9 prajñāpāramitām upadeṣṭu[m]\* athāyūṣmāṇ subhūtir bhagavantam  
etad avocat\* bodhisatvo bodhisatva iti bhagavann ucyate katamasyaitad  
dharmasyādhivacaṇam yad uta bo-

10 dhisattva iti • || na vyaṇ bhagavaṃs taddharmaṇ samanupaśyāmo yad  
uta bodhisatva iti nāma • te vyaṇ bhagavan bodhisatvaṇ mahāsatvaṇ tām  
ca prajñāpāramitām tac ca bodhisatvanāma asama-

11 nupaśyantaḥ<sup>32</sup> katamaṇ bodhisatvaṇ mahāsatvaṇ katamasyāṇ  
prajñāpāramitām upadekṣyāmo (')nuśāsiṣyāmaḥ evam ukte bhagavān  
āyūṣmantam subhūtim etad avocat\* nāmamātram idaṇ

12 subhūte yad uta prajñāpāramitā bodhisatvaś ca bodhisatvanāmā ca • tac ca  
nāma nādhyātmaṇ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • tadyathāpi  
nāma subhūte satvaḥ satva iti nā-

13 maḥ tac ca nāma prajñāptimātram yac ca prajñāptidharma tasya notpādo  
na nirodho (')nyatra saṃjñāsaṃketena vyavahriyate • evam ātmā jīvo jantu  
poṣa puruṣaḥ pudgalo

## Kj

<sup>31</sup> aniruddha tat te{na}: S. e. for aviruddha tat te? PvsP(K): na virudhyate, ŚsP(Gh): aviruddhaḥ/  
tat te.

<sup>32</sup> bodhisatvanāma asamanupaśyantaḥ: PvsP(K): bodhisattvam asamanupaśyan, ŚsP(Gh):  
bodhisattvanāmāsamanupaśyan.



「世尊、何因緣故微笑」佛告阿難「是衆中十萬億人於諸法中得無生忍、是諸人於未來世過六十八億劫當作佛、劫名花積、佛皆號覺花」

摩訶般若波羅蜜經 三假品第七

爾時佛告慧命須菩提「汝當教諸菩薩摩訶薩般若波羅蜜、如諸菩薩摩訶薩所應成就般若波羅蜜」即時諸菩薩摩訶薩及聲聞・大弟子・諸天、等作是念「慧命須菩提、自以智慧力、當爲諸菩薩摩訶薩說般若波羅蜜耶、爲是佛力」慧命須菩提知諸菩薩摩訶薩・大弟子・諸天心所念、語慧命舍利弗「諸佛弟子所說法、所教授、皆是佛力。佛所說法、法相不相違背。是善男子學是法得證此法。佛說如燈。舍利弗、一切聲聞・辟支佛、實無是力、能爲菩薩摩訶薩說般若波羅蜜」爾時慧命須菩提白佛言「世尊、所說菩薩菩薩字、何等法名菩薩。世尊、我等不見是法名菩薩、云何教菩薩般若波羅蜜」佛告須菩提「般若波羅蜜亦但有名字、名爲般若波羅蜜。菩薩菩薩字亦但有名字、是名字不在內、不在外、不在中間。須菩提、譬如說我名、和合故有、是我名不生・不滅、但以世間名字故說。如衆生・壽者・命者・生者・養育者・

(LPG 40v)<sup>33</sup> Dhr 162b20~c12; Mo 11b12~21; Kj 230c12~27; Xz(II) 29a29~c4; Xz(III) 447a23~b25; PvsP(K) I 110.24~112.26; PvsP(D) 99.17~100.15; AdsP(Tib.U) ka 77b1~78b5; AdsP(Tib.S) ka 86b6~88a6; AdsP(Tib.Pk) ni 52a4~53a3; AdsP(Tib.D) ka 58b1~59a7; PvsP(Tib.U) ka 104a2~105a7; PvsP(Tib.S) ka 115b3~117a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 89a6~90a6; PvsP(Tib.D) ka 87b5~88b5; IOL San 1492/04 v3~5

1 manuḥ mānava kāraḥ kārayitā utthāpakaḥ samutthāpako vedak[o]  
vedayitā jānakaḥ paśyakaḥ sarvaṃ etat prajñaptidharmaḥ yaś ca prajñapti-  
2 dharmāḥ tasya notpādo na nirodhaḥ yāvad eva nāmasaṃketamātreṇa  
vyavahr[i]lyate • tac ca nāma nādhyātmaṃ na <ba>hirdhā nobhayam  
antareṇopalabhyate • || evam eva subhūte yā ca prajñāpārami-  
3 tā yac ca bodhisatvanāma sarvaṃ etat prajñaptidharma tasya notpādo na

<sup>33</sup> ŚsP(Gh) 326.6~330.20; ŚsP(Tib.D) ka 200a2~202b5; Xz(I) 56c8~57b5.

(96)

nirodhaḥ yāvad eva nāmasaṃketamātreṇa vyavahriyate • || tadyathāpi nāma subhūte yo (')yam ādhyātmika ātmabhāvo rū-

4 pam iti • dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmaprajñapte<r> notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahṛyate • tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhaya-

5 m antareṇopalabhyate || evaṃ vedanā saṃjñā saṃskārā vijñānam iti dharma prajñaptimātram etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpado na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahriyate • tac ca nā-

6 ma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • evam eva subhūte prajñāpāramitā [ca] bodhisatvaś ca bodhisatvanāma ca • sarvam etat prajñaptidharma yac ca prajñaptidharma tasya no-

7 tpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahriyate • || tac ca nāmaṃ nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || cakṣur iti subhūte dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmapra-

8 jñapter notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahriyate|| yad uta cak[ṣu]r iti tac ca nāmaṃ nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || evaṃ śrotraṃ ghrāṇaṃ jihvā kāyo

9 mana iti subhūte dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahriyate • yad uta mana iti • tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahi-

10 rdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || evaṃ śabda gandha rasa sparśa dharmā iti subhūte dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vya-

11 vahṛyante • dharmā iti • ta[c ca] (n)[āma] (n)ā(dhyātma)ṃ (na ba)- hirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || cakṣurdhātur iti subhūte dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho (')nyatra

12 <nāma>(saṃ)ketamātreṇa v(ya)va[h](r)i(yate) • yad uta cakṣurdhātur iti

ta)c ca<sup>34</sup> nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • ||  
rūpadhātur iti subhūte dharmaprajñaptimātram e-

## Kj

衆數人・作者・使作者・起者・使起者・受者・使受者・知者・見者等、和合法故有、是諸名不生・不滅、但以世間名字故說。般若波羅蜜、菩薩菩薩字亦如是、皆和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。須菩提、譬如身和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。須菩提、譬如色・受・想・行・識、亦和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。須菩提、般若波羅蜜、菩薩菩薩字亦如是、皆是和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。須菩提、譬如眼和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。是眼不在內・不在外・不在中間、耳・鼻・舌・身・意和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。色乃至法亦如是、眼界和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。

(LPG 41r)<sup>35</sup> Dhr 162c12~27; Mo 11b21~29; Kj 230c27~231a8; Xz(II) 29c4~23;  
Xz(III) 447b25~c14; PvsP(K) I 112.26~114.1; PvsP(D) 100.15~101.12;  
AdsP(Tib.U) ka 78b5~79b4; AdsP(Tib.S) ka 88a6~89a7; AdsP(Tib.Pk) ni  
53a3~b6; AdsP(Tib.D) ka 59a7~60a4; PvsP(Tib.U) ka 105a7~106b1; PvsP(Tib.  
S) ka 117a2~118a5; PvsP(Tib.Pk) nyi 90a6~91a4; PvsP(Tib.D) ka 88b5~89b4

1 tat tasyāś ca [dharmaprajñapte](r) [n](otpādo na nirodho 'ny(a)tr(a  
nāmasaṃketamā)treṇa<sup>36</sup> vyavahṛyate rūpadhātur iti • || tac ca nāma  
nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopala-

2 bhyate • || cakṣurvijñānadhātur iti subhūte dharmaprajñaptimātram  
etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho ('nyatra

<sup>34</sup> v(ya)va(hr)i(yate • yad uta cakṣurdhātur iti ta)c ca: ŚsP(Gh): vyavahriyate / yad uta cakṣurdhātur iti / tac ca.

<sup>35</sup> ŚsP(Gh) 330.20~334.8; ŚsP(Tib.D) ka 202b5~205a2; Xz(I) 57b5~58a6.

<sup>36</sup> [dharmaprajñapte](r) [n](o)[tp](ādo na nirodho 'ny(a)tr(a nāmasaṃketa)[mā]treṇa: PvsP(K): dharmaprajñapter notpādo nirodho 'nyatra nāmasaṃketamātreṇa, ŚsP(Gh): dharmaprajñapter notpādo na nirodho 'nyatra saṃjñāsanketamātreṇa.

(98)

nāmasaṃketamātreṇa vyavahṛyate cakṣurvijñāna[dh]ātur i-  
3 ti • || tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • ||  
evam śrotradhātu śabdadhātuḥ śrotravijñānadhātuḥ ghrāṇadhātur gandhadhātur  
ghrāṇavijñānadhātuḥ jihvādhātū rasadhātu ji-

4 hvāvijñānadhātuḥ kāyadhātu spraṣṭavyadhātuḥ kāyavijñānadh(ātu)  
manodhātur iti subhūte dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca  
dharmaprajñapte<r> notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa  
vyavahṛyate • ||

5 manodhātur iti tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam  
antareṇopalabhyate • || dharmadhātur iti subhūte dharmaprajñaptimātram  
etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho (')nyatra  
nāmasaṃketamātreṇa

6 vyavahṛiyate • dharmadhātur iti • tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā  
nobhayam antareṇopala[bhy]ate • || manovijñānadhātur iti subhūte  
dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho  
(')nyatra

7 nāmasaṃketamātreṇa vyavahṛyate • manovijñānadhātur iti • tac ca nāmaṃ  
nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || evam eva  
subhūte yad idam ucyate prajñāpāramiteti • bodhisatva

8 iti • bodhisatvanāmeti • yāvad eva dharmaprajñaptimātram etat tasyāś  
ca dharmaprajñapte<r> notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa  
vyavahṛyate • prajñāpāramiteti bodhisatva iti • bodhisatva-

9 tvanāmeti • tac ca nāmaṃ nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam  
antareṇopalabhyate • || tadyathāpi nāma subhūte yo (')yam ādhyātmika  
ātmabhāva iti nāmamātreṇa vyavahṛyate • śīrṣāsthīnīti nāma vya-

10 vahṛiyate • grīvāsthīnīti<sup>37</sup> nāma vyavahṛyate • skandhāsthīnīti •  
bāhvāsthīnīti • pṛṣṭhāsthīnīti • parśukāsthīnīti • kaṭyasthīnīty ūrvasthīnīti •  
jaṃghāsthīnīti • pādāsthīnīti nāma

<sup>37</sup> grīvāsthīnīti: S. e. for grīvāsthīnīti.

11 vyavahriyate • || dharmaprajñamātram etat tasyāś ca dharmaprajñapter  
 notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahriyate •  
 śīrśāsthīnīti nāma yāva {;} pādāsthīnīti nāma • tac ca nāmaṃ nā-  
 12 dhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || evam eva  
 subhūte yad idam ucyate prajñāpāramiteti bodhisatva iti bodhisatvanāmeti  
 yāvad eva dharmaprajñaptimātram etat tasyāś ca dharmā-  
 13 prajñapter notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa  
 vyavahṛyate • tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam  
 antareṇopalabhyante • || tadyathāpi nāma subhūte yānimāni vāhyāni<sup>38</sup> ṭṛṇa-

## Kj

乃至意識界亦如是。須菩提、般若波羅蜜、菩薩菩薩字亦如是。皆和合故有、是亦不生・不滅、但以世間名字故說。是名字不在內、不在外、不在中間。須菩提、譬如內身名爲頭、但有名字。項・肩・臂・脊・脇・髀・膊・脚・皆和合故有。是法及名字亦不生・不滅、但以名字故說。是名字亦不在內、亦不在外、不在中間。須菩提、般若波羅蜜菩薩菩薩字亦如是、皆和合故有、但以名字故說。是亦不生・不滅、不在內、不在外、不在中間。須菩提、譬如外物・草

(LPG 41v)<sup>39</sup> Dhr 162c27~163a16; Mo 11b29~c11; Kj 231a8~26; Xz(II) 29c23~30a24; Xz(III) 447c14~448a8, 448a22~24(!); PvsP(K) I 114.1~29, 115.13~15, 115.22~24, 116.1~3, 116.10~12; PvsP(D) 101.12~102.9, 102.20~103.2; AdsP(Tib.U) ka 79b4~80b2; AdsP(Tib.S) ka 89a7~90b1, 90b5~7; AdsP(Tib.Pk) ni 53b6~54b1, 54b4~6; AdsP(Tib.D) ka 60a4~b6, 61a2~3; PvsP(Tib.U) ka 106b1~107b1, 108a3~7; PvsP(Tib.S) ka 118a5~119a6, 120a2~6; PvsP(Tib.Pk) nyi 91a4~b8; PvsP(Tib.D) ka 89b4~90b2, 91a2~5

<sup>38</sup> vāhyāni: *Read* bāhyāni. PvsP(K): bāhyam, ŚsP(Gh): bāhyāni.

<sup>39</sup> ŚsP(Gh) 334.8~339.20; ŚsP(Tib.D) ka 205a2~b5, 206a6~208b2; Xz(I) 58a6~b17.

(100)

1 kāṣuśākhāpatrapalāsāni<sup>40</sup> tāni sa(r)vāṇi nānānāmadheyair vyavahṛyante  
teṣāṃ ca nāmnā notpādo na nirodho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa  
vyavahṛyante • tāni ca nāmāni nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhaya-  
2 m antareṇopalabhyante • || evam eva subhūte yad idam ucyate  
prajñāpāramiteti • bodhisatva iti bodhisa<tva>nāmeti • yāvad eva  
dharmaprajñaptimātram etat tasyās ca dharmaprajñapter notpādo na niro-  
3 dho (')nyatra nāmasaṃketamātreṇa vyavahṛyate • || tac ca nāma  
nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • || tadyathāpi  
nāma subhūte atītānāṃ buddhānāṃ bhagavatāṃ yāvad eva nāmamātraṃ  
tiṣṭha-  
4 ti • tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā nobhayam antareṇopalabhyate • ||  
tadyathāpi nāma subhūte svapnaḥ pratiśrutkāpratibhāso māyāmaricir (')da[g]a-  
candras<sup>41</sup> tathāgatanirmitaṃ sarva ete dharmā pra-  
5 jñaptimātraṃ tasyās ca dharmaprajñapter notpādo na nirodhaḥ yāvad eva  
nāmasaṃketamātreṇa vyavahṛyate • || tac ca nāma nādhyātmaṃ na bahirdhā  
nobhayam antareṇopalabhyate • || evam eva subhūte prajñā-  
6 pāramiteti bodhisatva iti • bodhisatvanāmeti • sarva ete dharmāḥ  
prajñaptimātraṃ tasyās ca dharmaprajñapter notpādo na nirodho (')nyatra  
nāmasaṃketamātre<ṇa> vyavahṛyate • tac ca nāma nādhyātmaṃ na ba-  
7 hirdhā nobhayam antareṇopalabhyante evaṃ khalu subhūte bodhisatvena  
mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ caratā nāmasaṃketaprajñāptyāṃ  
avavādaprajñāptyāṃ dharmaprajñāptyāṃ ca śikṣitavyam\* || evaṃ khalu  
8 subhūte bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ cara<n na><sup>42</sup> rūpan nāma  
nityam iti samanupaśyati • nā rūpan<sup>43</sup> nāmānityam iti samanupaśyati • || na  
vedanāṃ na saṃjñāṃ{n} na saṃskārān na vijñā(na)ṃ (n)āma<sup>44</sup>

<sup>40</sup> kāṣu: S.e. for kāṣṭhaśākhāpatrapalāsāni. PvsP(K): kāṣṭhaṃ śākhāparśapalāsaṃ, ŚsP(Gh): kāṣṭhaśākhāpatrapalāsāni.

<sup>41</sup> (')da[g]acandras: S.e. for (')dakacandras? ŚsP(Gh): udakacandras.

<sup>42</sup> cara<n na>: PvsP(K): caran bodhisatvo mahāsatvo na, ŚsP(Gh): caran na.

<sup>43</sup> nā rūpan: S. e. for na rūpan. PvsP(K): na rūpan, ŚsP(Gh): na rūpaṃ.

<sup>44</sup> vijñā(na)ṃ (n)āma: ŚsP(Gh): vijñānaṃ nāma.

9 nityam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmānityam iti samanupaśyati • || na rūpan nāma sukham iti samanupaśyati • na rūpan nāma duḥkham iti samanupaśyati • na vedanā na saṃjñān na saṃskā-

10 rān na vijñānaṃ nāma sukham iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāma duḥkham iti samanupaśyati • na rūpa nāmātmeti samanupaśyati • na rūpan nāmātmeti samanupaśyati • na vedanāṃ ca saṃjñā-

11 n na saṃskārān na vijñānaṃ nāmātmeti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmātmeti samanupaśyati • || na rūpaṃ nāma śāntam iti samanupaśyati na rūpaṃ nāmāśāntam iti samanupaśyati • ||

12 na vedanāṃ na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma śāntam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmāśāntam iti samanupaśyati • || na rūpaṃ nāma śūnyam iti samanupaśyati • na rūpaṃ nāmā-

13 [ś]ūnyam iti samanupaś[yat]i na vedanā na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma śūnyam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmāśūnyam iti samanupaśyati • ||

## Kj

木・枝葉・莖節、如是一切、但以名字故說。是法及名字、亦不生不滅、非内・非外・非中間住。須菩提、般若波羅蜜菩薩菩薩字亦如是、皆和合故有、是法及名字、亦不生・不滅、非内、非外、非中間住。須菩提、譬如過去諸佛名和合故有、是亦不生・不滅、但以名字故說。是亦非内、非外、非中間住、般若波羅蜜、菩薩菩薩字亦如是。須菩提、譬如夢・響・影・幻・焰、佛所化皆是和合故有。但以名字說、是法及名字不生・不滅、非内、非外、非中間住、般若波羅蜜、菩薩菩薩字亦如是。如是須菩提、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、名假施設、受假施設、法假施設、如是應當學。復次、須菩提、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、不見色名字、是常不見受・想・行・識名字。是常不見色名字無常、不見受・想・行・識名字無常。不見色名字樂、不見色名字苦、不見色名字我、不見色名字無我、不見色名字空、

(102)

(LPG 42r)<sup>45</sup> Dhr 163a16~20; Mo 11c12~13; Kj 231a26~b1; Xz(II) 30a24~b2; Xz(III) 448a8~12, 448a25~29(!); PvsP(K) I 114.30~115.11, 115.15~19, 115.24~28, 116.3~8, 116.12~18; PvsP(D) 102.9~20, 103.1; AdsP(Tib.U) ka 80b2~5, 80b8~81a2; AdsP(Tib.S) ka 90b1~4, 90b7~91a3; AdsP(Tib.Pk) ni 54b1~3, 54b6~8; AdsP(Tib.D) ka 60b6~61a1, 61a3~5; PvsP(Tib.U) ka 107b1~108a2, 108a8~109a1; PvsP(Tib.S) ka 119a6~120a1, 120a6~121a1; PvsP(Tib.Pk) nyi 91b8~92a8, 92b4~93a4; PvsP(Tib.D) ka 90b2~91a1, 91a5~91b5

1 (na) rūpa[m̐]<sup>46</sup> nāma n(i)m(i)ttam [i](ti sa)[m](a)nupaśyati • na [r]ū[p](a) .. +  
+ [m](i)ttam<sup>47</sup> iti samanupaśyati • || na vedanā na saṃjñān na saṃskārān na  
vijñānaṃ nāma nimittam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ

2 nāmānimittam iti samanupaśyati • || na rūpan nāma praṇihitam iti  
samanupaśyati • na rūpan nāmāpraṇihitam iti samanupaśyati || evan na  
vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ

3 nāma praṇihitam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmāpraṇihitam iti  
samanupaśyati || na rūpa nāma saṃskṛtam iti samanupaśyati • na rūpaṃ  
nāmāsaṃskṛtam iti samanupaśyati • ||

4 evan na vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma saṃskṛtam  
iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmāsaṃskṛtam iti samanupaśyati • || na  
rūpa nāmotpāda iti samanupaśyati • ||

5 na rūpan nāma nirodha iti samanupaśyati • || evaṃ{n} na vedanān na  
saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāmotpāda iti samanupaśyati • na  
vijñānaṃ nāma nirodha iti samanupaśyati • ||

6 na rūpaṃ nāma viviktam iti samanupaśyati • na rūpaṃ nāmāviviktam iti  
samanupaśyati • || evan na vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ  
nāma viviktam iti samanupaśyati • na

<sup>45</sup> ŚsP(Gh) 335.13~340.14; ŚsP(Tib.D) ka 205b6~206a5, 208b2~209a2; Xz(I) 58b17~c3.

<sup>46</sup> (na) rūpa[m̐] : PvsP(K), ŚsP(Gh) : na rūpaṃ.

<sup>47</sup> [r]ū[p](a) .. + + [m](i)ttam: ŚsP(Gh): na rūpaṃ nāmānimittam, PvsP(K) : rūpaṃ animittam.



7 vijñānaṃ nāmāviviktam iti samanupaśyati • || na rūpaṃ nāma kuśalam  
iti samanupaśyati • na rūpaṃ nāmākuśalam iti samanupaśyati • || evan na  
vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vi-

8 jñānaṃ nāma kuśalam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmākuśalam iti  
samanupaśyati || na rūpan nāma sāvadyam iti samanupaśyati • na rūpan  
nāmānavadyam iti samanupa-

9 śya[ti] • (||) evaṃ na vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma  
sāvadyam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāmānavadyam iti samanupaśyati ||  
na rūpan nāma sāsraṃvāṃ iti samanupaśya-

10 ti • na rūpan nāmānāsraṃvāṃ iti samanupaśyati • || evan na vedanān na  
saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma sāsraṃvāṃ iti samanupaśyati • na  
vijñānaṃ nāmānāsraṃvāṃ iti sama-

11 nupaśyati || na rūpan nāma saṃkleśam iti samanupaśyati • na rūpan nāma  
niṣkleśam iti samanupaśyati • || evaṃ na vedanān na saṃjñān na saṃskārān  
na vijñānaṃ nāma saṃkleśam iti samanupa-

12 paśyati • na vijñānaṃ nāma niṣkleśam iti samanupaśyati || na rūpan nāma  
laukikam iti samanupaśyati • na rūpan nāma lokottaram iti samanupaśyati • ||  
evaṃ na vedanān na saṃjñān-

13 n na saṃskārān na vijñānaṃ nāma laukikam iti samanupaśyati • na  
vijñānaṃ nāma lokottaram iti samanupaśyati || na rūpan nāma saṃkleśam  
iti samanupaśyati • na rūpan nāma

## Kj

不見色名字無相、不見色名字無作、不見色名字寂滅、不見色名字垢、不見色名  
字淨、不見色名字生、不見色名字滅、不見色名字內、不見色名字外、不見色名  
字中間住、

(LPG 42v)<sup>48</sup> Dhr 163a20~21; Mo 11c13, 14; Kj 231b1~3; Xz(II) 30b2~31a8(!);

<sup>48</sup> ŚsP(Gh) 335.18~349.2; ŚsP(Tib.D) ka 206a5~6, 209a2~215b1; Xz(I) 58c3~61c3; 58e11~60c5.

(104)

Xz(III) 448a13~21, 448a29~c5, 448c5~14; PvsP(K) I 115.11~12, 115.19~21, 115.28~29, 116.8~9, 116.18~118.10, 124.9~30, 118.11~12; PvsP(D) 103.2~8, 104.3~6, 103.8~9; AdsP(Tib.U) ka 80b5~8, 81a2~5; AdsP(Tib.S) ka 90b4~5, 91a3~6; AdsP(Tib.Pk) ni 54b3~4n ni 54b8~55a2; AdsP(Tib.D) ka 61a1~2, 61a5~7; PvsP(Tib.U) ka 108a2~3, 109a1~111a1; PvsP(Tib.S) ka 120a1~2, 121a2~123a3; PvsP(Tib.Pk) nyi 92a8, 93a4~94b5; PvsP(Tib.D) ka 91a1~2, 91b5~93a7

1 vyavadānam iti samanupaśyati • || evan na vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma saṃkleśam iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāma vyavadānam iti samanupaśyati || na rūpa nāma saṃsāra-

2 m iti samanupaśyati • na rūpan nāma nirvāṇam iti samanupaśyati • || evan na vedanān na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ nāma saṃsāram iti samanupaśyati • na vijñānaṃ nāma nirvāṇam iti sama-

3 nupaśyati || na cakṣur nityam iti samanupaśyati • yāva[c ca]kṣuḥ saṃsāram iti samanupaśyati • || na cakṣur nirvāṇam iti samanupaśyati • na rūpaṃ nityam iti samanupaśyati • na rūpam anitya-

4 m iti samanupaśyati • yāvan na rūpaṃ saṃsāram iti samanupaśyati • na rūpam\* nirvāṇam iti samanupaśyati • || na cakṣurvijñānaṃ nityam iti samanupaśyati • na cakṣurvijñānam anitya-

5 m iti samanupaśyati • yāvan na cakṣurvijñānaṃ saṃsāram iti samanupaśyati • cakṣurvijñānaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • || na cakṣuḥsaṃsparśam nitya iti samanupaśyati • na cakṣuḥ-

6 saṃsparśam anitya iti samanupaśyati • || yāvan na cakṣusaṃsparśam saṃsāra iti samanupaśyati • na cakṣuḥsaṃsparśam nirvāṇam iti samanupaśyati • || yad api tac cakṣūrūpacakṣuvijñāna-

7 saṃsparśapratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhaṃ vā tad api nityam iti samanupaśyati • nānityam iti samanupaśyati • || na sukham iti na duḥkham iti • nātmēti nā-

8 nātmēti • na śāntam iti nāśāntam iti • na śunyam iti nāśunyam iti • na nimittam iti nānimittam iti • samanupaśyati • na prañihitam iti nāprañihitam iti • na saṃskṛtam iti nāsaṃskṛtam iti • notpāda i-

9 ti na nirodha iti • na viviktam iti nāviviktam iti • na kuśalam iti nākuśalam iti • na sāvadyam iti nānavadyam iti • na sāsraḥam iti nānāsraḥam iti • na saṃkleśam iti na niṣkleśa-

10 m iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na saṃkleśam iti na vyavadānam iti • na saṃsāram iti na nirvāṇam iti • na śrotraṃ nityam iti samanupaśyati • na śrotram anityam iti samanupa-

11 śyati • yāvan aśrotraṃ saṃsāram iti samanupaśyati • na śrotraṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • na śabdaṃ nitya iti samanupaśyati • na śabdaṃ anitya iti samanupaśyati • yāvan aśabdaṃ saṃ-

12 sāra iti samanupaśyati • na śabdaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • na śrotravijñānaṃ nitya iti samanupaśyati • na śrotravijñānam anitya iti samanupaśyati • yāvad na śrotravijñānaṃ

13 saṃsāra iti samanupa(śyati) • na śrotravijñānaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • na śrotrasaṃsparśaṃ nitya iti samanupaśyati • na śrotrasaṃsparśaṃ anitya iti samanupaśyati •

## Kj

受・想・行・識亦如是。眼・色・眼識・眼觸・眼觸因縁生諸受

(LPG 43r)<sup>49</sup> Dhr 163a21~22; Mo 11c14; Kj 231b3; Xz(II) 31a8~b20, 31c11; Xz(III) 448a21, 448c5, 448c14~15; PvsP(K) I 118.13~119.16, 125.1~125.22, 119.17~120.22, 125.23~126.15, 120.23~121.25 (a part of 120.23~121.25 is parallel to 43v1~8); PvsP(D) 103.9~13, 104.6~8, 103.11~13, 104.8~10, 103.14~103.16 (a part of 103.14~16 is parallel to 43v1~8); AdsP(Tib.U) ka 81a5~6, 81b2~3; AdsP(Tib.S) ka 91a6~7, 91b4~5; AdsP(Tib.Pk) ni 55a2, 55a6;

<sup>49</sup> ŚsP(Gh) 349.2~357.2; ŚsP(Tib.D) ka 215b1~220a2; Xz(I) 60c4~61c5; 58c11~61c5; 58c11~59a9.

AdsP(Tib.D) ka 61a7, 61b3; PvsP(Tib.U) ka 111a1~112a7; PvsP(Tib.S) ka 123a3~124b2; PvsP(Tib.Pk) nyi 94b5~95b4; PvsP(Tib.D) ka 93a7~94a7

1 + + .n. r. ... + + + + + .. m anupaśyat[i]<sup>50</sup> • na [ś]r(o) + + + + (r)[vā]ṇam<sup>51</sup>  
iti samanupaśyati • na śrotrasaṃsparśaṃ nirvāṇa iti samanupaśyati • yad api  
tac chrotraśabdaśrotravi-

2 jñānasamsparsāpratyayād utpadyat(e) vedayitaṃ sukhaṃ vā du<ḥ>khaṃ vā  
aduḥkhāsukhaṃ vā tad api na nityam iti samanupaśyati • nānityam iti • na  
sukham iti na duḥkham iti • nātmeti nānātmeti • na śā-

3 ntam iti nāśāntam iti • na śunyam iti nāśunyam iti • na nimittam iti  
nānimittam iti • na praṇihitam iti nāpraṇihitam iti • na saṃskṛtam iti  
nāsaṃskṛtam iti • notpāda iti na nirodha i-

4 ti • na vi«vi»ktam iti nāviviktam iti • na kuśalam iti nākuśalam iti •  
na sāvadyam iti nānavadyam iti • na sāsraavam iti nānāsraavam iti • na  
saṃkleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam i-

5 ti na lo«ko»ttaram iti • na saṃkleśam iti na vyavadānam iti • na saṃsāram  
iti na nirvāṇam iti samanupaśyati • na ghrāṇaṃ nityam iti samanupaśyati •  
na ghrāṇam anityam iti samanupaśyati • yā-

6 van na ghrāṇaṃ saṃsāram iti samanupaśyati • na ghrāṇaṃ nirvāṇam  
iti samanupaśyati • na gandhaṃ nityam iti samanupaśyati • na gandham  
anityam iti samanupaśyati • yāvan na gandhaṃ saṃsāra iti

7 {iti} samanupaśyati • na gandhaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • na  
ghrāṇavijñānaṃ nitya iti samanupaśyati • na ghrāṇavijñānam anityam iti  
samanupaśyati • yāvan na ghrāṇavijñānaṃ saṃsāra iti

8 samanupaśyati • na ghrāṇavijñānaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • na  
[ghrā]ṇasaṃsparśaṃ nitya iti samanupaśyati • na ghrāṇasaṃsparśa{ṃ}m  
anitya iti samanupaśyati • yāvan na ghrāṇasaṃsparśaṃ

<sup>50</sup> + + n. r. ... + + + + + .. m anupaśyat[i]: ŚsP(Gh): na śrotrasaṃsparśo nāma saṃsāra  
iti samanupaśyati.

<sup>51</sup> na [ś]r(o) + + + + (r)[vā]ṇam: *Read* na śrotrasaṃsparśaṃ nirvāṇam. S. e.?

9 saṃsāra iti samanupaśyati • na ghrāṇasaṃsparśaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • yad api tad ghrāṇagandhaghrāṇavijñānasamsparsāpratrayāḍ utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ vā aduḥ-

10 khāsukhaṃ vā tad api na nityam iti samanupaśyati nānityam iti • na sukham iti na duḥkham iti nātmēti nānātmēti • na śāntam iti nāśāntam iti • na śūnyam iti nāśūnyam iti • na nimittam iti nā-

11 nimittam iti • na praṇihitam iti nāpraṇihitam iti • na saṃskṛtam iti nāsaṃskṛtam iti • notpāda iti na nirodha iti • na viviktam iti nāviviktam iti • na kuśalam iti nākuśala-

12 m iti • na sāvadyam iti nānavadyam iti • na sāsṛavam iti nānsṛavam iti • na saṃkleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na saṃkleśam iti na vyava[d]āna-

13 m iti • na saṃsāram iti na nirvāṇam iti • samanupaśyati • na jihvā nityeti samanupaśyati • na jihvām anityeti samanupaśyati • yāvan na jihvā saṃsāram iti sa-

## Kj

乃至

(LPG 43v)<sup>52</sup> Dhr 163a22~23; Mo 11c14; Kj 231b3; Xz(II) 31b21~c22; Xz(III) 448a21, 448c5, 448c14~15; PvsP(K) I 120.23~121.26 (a part of 120.23~121.25 is parallel to 43r13. *na jihvā nityeti samanupaśyati ... yāvan na jihvā saṃsāram iti sa*), 126.16~127.7, 121.27~123.2, 127.8~14; PvsP(D) 103.14~16 (a part of 103.14~16 is parallel to 43r13), 104.10~12, 103.16~19, 104.13~16; AdsP(Tib.U) ka 81a6~7, 81b3; AdsP(Tib.S) ka 91a7~b1, 91b5~6; AdsP(Tib.Pk) ni 55a3, 55a6~7; AdsP(Tib.D) ka 61a7~61b1, 61b4; PvsP(Tib.U) ka 112a7~b3; PvsP(Tib.S) ka 124b2~125b7; PvsP(Tib.Pk) nyi 95b4~96a2; PvsP(Tib.D) ka 94a7~95a7

<sup>52</sup> ŚsP(Gh) 357.2~366.2; ŚsP(Tib.D) ka 220a2~223a2; Xz(I) 59a8~61c5; 58c11~61a22.

1 manupaśyati na jihvā nirvāṇam iti samanupaśyati • na rasam nitya iti samanupaśyati • na rasam (a)n(i)tya it(i) samanupaśyati • yāvan na rasa(m)sa(m)sāram i-

2 ti samanupaśyati • na rasam nirvāṇam iti samanupaśyati • na jihvāvijñānam nityam iti samanupaśyati • na jihvāvijñānam anityam iti samanupaśyati • yāvan na jihvāvi-

3 jñānam saṃsāram iti samanupaśyati • na jihvāvijñānam nirvāṇam iti samanupaśyati • na jihvāsaṃsparśam nitya iti samanupaśyati • na jihvāsaṃsparśam anitya iti samanupaśyati •

4 yāvan na jihvāsaṃsparśam saṃsāra iti samanupaśyati • na jihvāsaṃsparśam nirvāṇam iti samanupaśyati • yad api ta<j> jihvārasajihvāvijñānasamsparsāpratyayād utpadyate vedayi-

5 tam sukham vā duḥkham vā aduḥkhāsukham vā tad api na nityam iti samanupaśyati • nānityam iti • na sukham iti na duḥkham iti • nātmēti nānātmēti • na śāntam iti nāśāntam iti • na śūnyam iti

6 nāśūnyam iti • na nimittam iti nānimittam iti • na praṇihitam iti nāpraṇihitam iti • na saṃskṛtam iti nāsaṃskṛtam iti • notpāda iti na nirodha iti • na viviktam iti nāviviktam i-

7 ti • na kuśalam iti nākuśalam iti • na sāvadyam iti nānavadyam iti • na sāsravam iti nānāsravam iti • na saṃkleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na

8 saṃkleśam iti na vyavadānam iti • na saṃsāram iti na nirvāṇam iti samanupaśyati • na kāyam nitya iti samanupaśyati • na kāyam anitya iti samanupaśyati • yāvan na kāyam saṃ-

9 sāram iti samanupaśyati • na kāyam nirvāṇam iti samanupaśyati • na spraṣṭavyam nitya iti samanupaśyati • na spraṣṭavyam anitya iti samanupaśyati • yāvan na spraṣṭavyam saṃsāram iti

10 samanupaśyati • na spraṣṭavyam nirvāṇam iti samanupaśyati • na

kāyavijñānaṃ nityam iti samanupaśyati • na kāyavijñāna{ṃ}m anityam iti samanupaśyati • yāvan na kāyavijñānaṃ saṃsāra-

11 m iti samanupaśyati • na kāyavijñānaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • na kāyasamsparsaṃ nitya iti samanupaśyati • na kāyasamspa<rśa>m anitya iti samanupaśyati • yāvan na kāya-

12 samsparsaṃ saṃsāra iti samanupaśyati • na kāyasamsparsaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • yad api tat kāyaspraṣṭavyakāyavijñānasamsparsāpratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā

13 (du)ḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhāṃ (vā){ṃ}<sup>53</sup> tad api na nityam iti samanupaśyati • nānityam iti • na sukhaṃ iti na duḥkhaṃ iti • nātmeti nānātmēti • na śāntam iti nāśāntam iti • na śūnyam iti

## Kj

乃至

(LPG 44r)<sup>54</sup> Dhr 163a23~24; Mo 11c14~15; Kj 231b3~4; Xz(II) 31c22~32a24; Xz(III) 448a21, 448c5, 448c14~15; PvsP(K) I-1 127.14~29, 123.3~124.8, 127.30~128.18; PvsP(D) 104.16~18, 103.19~104.2, 104.18~21; AdsP(Tib. U) ka 81a7~8, 81b3~5; AdsP(Tib.S) ka 91b1~2, 91b6~7; AdsP(Tib.Pk) ni 55a3~4, 55a7~8; AdsP(Tib.D) ka 61b1~2, 61b4; PvsP(Tib.U) ka 112b3~113b2; PvsP(Tib.S) ka 125b7~126b6; PvsP(Tib.Pk) nyi 96a2~96b6; PvsP(Tib.D) ka 95a7~96a3

1 nāśūnya .. + + + + + .. nānimittam (i)ti •<sup>55</sup> na [ś]r(o)[t]rasa(ṃ)sparsā[ṃ]

<sup>53</sup> (du)ḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhāṃ (vā){ṃ}; ŚsP(Gh): duḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhaṃ vā.

<sup>54</sup> ŚsP(Gh) 366.2~371.11; ŚsP(Tib.D) ka 223a2~229a5; Xz(I) 61a22~c5; 58c11~61c1.

<sup>55</sup> nāśūnya .. + + + + + .. nānimittam (i)ti •: PvsP(K): nāśūnyam iti, na nimittam iti nānimittam iti, ŚsP(Gh): nāśūnyam iti samanupaśyati / na nimittam iti samanupaśyati / nānimittam iti samanupaśyati.

(110)

ni<sup>56</sup> nāpraṇihitam iti • na saṃskṛtam iti nāsaṃskṛtam iti • notpada iti na nirodha iti • na viviktam iti nāv(i)v(i)-

2 ktam iti • na kuśalam iti nākuśalam iti • na sāvadyam iti nānavadyam iti • na sāsṛavam iti nānāsṛavam iti • na saṃkleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na

3 saṃkleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na saṃkleśam iti na vyavadānam iti • na saṃsāram iti na nirvāṇam iti • samanupaśyati • na mano nityam iti samanupaśyati •

4 na mana anityam iti samanupaśyati • evan na sukham iti na duḥkham iti nātmeti nānātmeti na śāntam iti nāśāntam iti • na śūnyam iti nāśūnyam iti • na nimittam iti • na

5 praṇihitam i<ti> nāpraṇihitam iti • saṃskṛtam iti nāsaṃskṛtam iti • notpāda iti na nirodha iti • na viviktam iti nāviviktam iti • na kuśalam iti nākuśalam iti • na sāvadyam iti

6 nānavadyam iti • na sāsṛavam iti nānāsāsṛavam iti • na saṃkleśam iti nāsaṃkleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na saṃkleśam iti na vyavadānam iti • na saṃsāram iti na nirvāṇa-

7 m iti samanupaśyati • na dharmā nityam iti samanupaśyati • na dharmān anityā iti samanupaśyati • yāvan na dharmān saṃsārā iti samanupaśyati • na dharmā nirvāṇā iti samanupaśyati •

8 na manovijñānaṃ nityam iti samanupaśyati • na manovijñānam anityam iti samanupaśyati • yāvan na manovijñānaṃ saṃsāram iti samanupaśyati • manovijñānaṃ nirvāṇam i-

9 ti samanupaśyati • na manasaṃsparśaṃ nitya iti samanupaśyati • na mana[h]saṃsparśam anitya iti samanupaśyati • yāvan na manaḥsaṃsparśaṃ saṃsāram iti samanupaśyati • na manaḥ-

10 saṃsparśaṃ nirvāṇam iti samanupaśyati • yad api tat manodharmamano-

<sup>56</sup> na [ś]r(o)[t]rasa(ṃ)sparsā[ṃ] ni: パラレルからは nāpraṇihitam iti が支持される。na [śr]r(o)[t]-rasa(ṃ)sparsā[ṃ] ni は fol.43r,l1 の欠損箇所と一致。ŚsP(Gh): na praṇihitam iti samanupaśyati / nāpraṇihitam iti samanupaśyati. PvsP(K): na praṇihitam iti nāpraṇihitam iti samanupaśyati.



vijñānasamsparsāpratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ vā  
aduḥkhāsukhaṃ vā tad api na nityam iti

11 samanupaśyati • nānityam iti samanupaśyati • na sukham iti na duḥkham  
iti nātmeti nānātmeti • na śāntam iti nāśāntam iti • na śūnyam iti nāśūnyam  
iti • na nimittam iti nānimi-

12 ttam iti • na praṇihitam iti nāpraṇihitam iti • na saṃ{skṛṃ}skṛtam iti •  
nāsaṃskṛtam iti notpāda iti na nirodha iti • na viviktam iti nāviviktam iti •  
na kuśalam iti nākuśala-

13 m iti • na sāvadyam iti nānavadyam iti • na sāsravam iti nāsravam iti •  
na sa(ṃ)kleśam iti na niṣkleśam iti • na laukikam iti na lokottaram iti • na  
saṃkleśam iti na vyavadānam iti •

## Kj

意・法・意識・意觸・意觸因縁生諸受亦如是。

(LPG 44v)<sup>57</sup> Dhr 163a24~163b13, 163b14~15; Mo 11c15~28; Kj 231b4~19;  
Xz(II) 32a24~c6; Xz(III) 448c16~449a27; PvsP(K) I-1 128.19~129.27; PvsP(D)  
104.21~106.5; AdsP(Tib.U) ka 81b5~82b4; AdsP(Tib.S) ka 91b7~93a2;  
AdsP(Tib.Pk) ni 55a8~56a3; AdsP(Tib.D) ka 61b5~62b1; PvsP(Tib.U) ka  
113b2~115b7; PvsP(Tib.S) ka 126b7~128b4; PvsP(Tib.Pk) nyi 96b6~98b5;  
PvsP(Tib.D) ka 96a3~97b1

1 na saṃsāram iti na nirvāṇam iti samanupaśyati • || tat kasya hetoḥ tathā hi  
bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ carans tāṃś ca prajñāpāramitāṃ  
taṃś ca bodhisatvaṃ tac ca bodhisatvanāma na saṃskṛte dhā-

2 tau samanupaśyati na saṃskṛte dhātau tat kasya hetoḥ tathā hi subhūte  
bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran sarvān etān dharmān na  
kalpayati na vikalpayati • sa prajñāpāramitāyāṃ

<sup>57</sup> ŚsP(Gh) 371.18~379.15; ŚsP(Tib.D) ka 229a5~237a5; Xz(I) 61c3~5; 70c29~71b13.

(112)

3 carann avikalpe dharme sthitvā smṛtyupasthānabhāvanatāyai  
prajñāpāramitāyāṃ carati • || na prajñāpāramitāṃ samanupaśyati • na  
prajñāpāramitānāma samanupaśyati • na bodhisatvaṃ sama-  
4 nupaśyati • || na bodhisatva nāma samanupaśyati • na buddhaṃ  
samanupaśyati • na buddhanāma samanupaśyati • evaṃ samyakprahāṇar-  
dhipādendriyabalabodhyaṃgamārgāṇāṃ\* || dānapāramitā śīlapā-  
5 ramitā kṣāntipāramitā vīryapāramitā dhyānapāramitā prajñāpāramitā • yāvad  
aṣṭādaśānāmāveṇikānāṃ buddhadharmāṇāṃ bhāvanatāyai prajñāpāramitāyāṃ  
carati • na ca prajñāpārami-  
6 tāṃ samanupaśyati • na prajñāpāramitānāma samanupaśyati • na  
bodhisatvaṃ samanupaśyati • na bodhisatvanāma samanupaśyati • na  
buddhaṃ samanupaśyati • na buddhanāma samanupaśyati •  
7 anyatra sarvajñātāmanasikārāt\* tena bodhisatvena mahāsatvena  
prajñāpāramitāyāṃ caratā dharmāṇāṃ dharmalakṣaṇaṃ supratividdhaṃ  
bhavati • yac ca dharmāṇāṃ lakṣaṇaṃ tan na saṃkli-  
8 śyate na vyavadāyate • evaṃ khalu subhūte bodhisatvena mahāsatvena  
prajñāpāramitāyāṃ caratā nāmasaṃketikī dharmaprajñaptir avabodhdhavyāḥ  
sa nāmasaṃketikī dharmaprajñaptir avabudhya  
9 na rūpam abhinivekṣyate na vedanā{ṃ}n na saṃjñān na saṃskārān  
na vijñānam abhinivekṣyate • na cakṣur abhinivekṣyate • na rūpam  
abhinivekṣyate • na cakṣurvijñānam abhinivekṣyate • na cakṣuḥsaṃ-  
10 sparśam abhinivekṣyate • yad api tac cakṣūrūpacakṣurvijñānasamsparśa-  
pratrayāḍ utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhaṃ vā  
tad api nābhinivekṣyate • || evaṃ na śrotraśabdā{ṃ}n na śrotra-  
11 vijñānaṃ na śrotrasamsparśam abhinivekṣyate • || yad api tac chrotraśabda-  
śrotravijñānasamsparśapratrayāḍ utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ  
vā aduḥkhāsukhaṃ vā tad api nābhinivekṣyate • || na ghrā-  
12 ṇaṃ na gandhaṃ na ghrāṇavijñānaṃ na ghrāṇasamsparśam  
abhinivekṣyate • || yad api tat ghrāṇagandhaghrāṇavijñānaghrāṇasamsparśa-

pratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhaṃ vā ta-

13 d api nābhinivekṣyate || na (j)i(hv)[ā]n na rasān na jihvāvijñānaṃ na jihvāsaṃsparśam abhinivekṣyate • || yad api ta<j> jihvārasajihvāvijñānajihvāsaṃsparśapratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā

## Kj

何以故。菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、般若波羅蜜字、菩薩菩薩字。有爲性中亦不見、無爲性中亦不見。菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、是法皆不作分別。是菩薩行般若波羅蜜、住不壞法中、修四念處時、不見般若波羅蜜、不見般若波羅蜜字、不見菩薩、不見菩薩字、乃至修十八不共法時、不見般若波羅蜜、不見般若波羅蜜字、不見菩薩、不見菩薩字。菩薩摩訶薩如是行般若波羅蜜時、但知諸法實相。諸法實相者、無垢・無淨。如是須菩提、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、當作是知名字假施設、知假名字已、不著色、不著受・想・行・識、不著眼乃至意、不著色乃至法、不著眼識、乃至不著意識、不著眼觸乃至不著意觸、不著眼觸因緣生受、若苦、若樂、若不苦、不樂、

(LPG 45r)<sup>58</sup> Dhr 163b13~14, 163b15~c15; Mo 11c28~12a15; Kj 231b19~c10; Xz(II) 32c6~32c27; Xz(III) 449a27~b26; PvsP(K) I-1 129.27~131.15; PvsP(D) 106.5~107.18; AdsP(Tib.U) ka 82b4~83b6; AdsP(Tib.S) ka 93a2~94a7; AdsP(Tib.Pk) ni 56a3~b8; AdsP(Tib.D) ka 62b1~63a6; PvsP(Tib.U) ka 115b7~117b3; PvsP(Tib.S) ka 128b4~130b3; PvsP(Tib.Pk) nyi 98b5~100a4; PvsP(Tib.D) ka 97b1~99a1

1 duḥkha(ṃ) vā aduḥkhāsu(khaṃ vā ta)d api nābhinivekṣyate || na kāyan na spraṣṭavyāni na kāyavijñānaṃ na kāyasaṃsparśam abhinivekṣyate • || yad api tat kāyaspraṣṭavyakāyavijñānakāyasaṃspa(r)śa-

2 pratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ vā aduḥkhāsukhaṃ

<sup>58</sup> ŚsP(Gh) 379.15~382.8; ŚsP(Tib.D) ka 237a5~239a4; Xz(I) 71b6~72a19.

(114)

vā tad api nābhinivekṣyate • || na mano dharmān na manovijñānaṃ na  
manaḥsaṃsparśaṃ abhinivekṣyate • yad api tan manodharmamanovijñāna-  
3 manaḥsaṃsparśapratyayād utpadyate vedayitaṃ sukhaṃ vā duḥkhaṃ  
vā aduḥkhāsukhaṃ vā tad api nābhinivekṣyate || saṃskṛte dhātau  
nābhinivekṣyate • asaṃskṛte dhātau nābhinivekṣyate • || dānapāramitāyāṃ  
nā-

4 bhinivekṣyate • evaṃ śīlapāramitāyāṃ kṣāntipāramitāyāṃ vīryapāramitāyāṃ  
dhyānapāramitāyāṃ prajñāpāramitāyāṃ nābhinivekṣyate • nāmnī api lakṣaṇe  
(')py āsāṃ nābhinivekṣyate • yāvad bo-

5 dhisatvakāyēnābhinivekṣyate māṃsacakṣuṣī nābhinivekṣyate • divyacakṣuṣī  
prajñācakṣuṣī dharmacakṣuṣī{r} buddhacakṣuṣī nābhinivekṣyate •  
abhijñāpāramitāyāṃ nābhinivekṣyate • adhyātmaśunyatā-

6 yāṃ nābhinivekṣyate • bahirdhāśunyatāyāṃ nābhinivekṣyate •  
adhyātmabahirdhāśunyatāyāṃ nābhinivekṣyate • yāvad abhāvasvabhāva-  
śunyatāyāṃ nābhinivekṣyate • tathatāyāṃ nābhinivekṣyate • bhūtakotyaṃ

7 nābhinivekṣyate • dharmadhātau nābhinivekṣyate • satvapariṣāke  
nābhinivekṣyate • || buddhakṣetrapariśuddhau nābhinivekṣyate •  
upāyakaūsāle nābhinivekṣyate • tat kasya heto{h}s tathā hi te sa-

8 rvadharmā na saṃvidyante yaś cābhiniśīta • yena cābhiniśīta yatra  
cābhiniśīta • evaṃ khalu subhūte bodhisatvo mahāsatvo na (')bhiniśītaḥ  
sarvadharmeṣu prajñāpāramitāyāṃ caran dānapāra-

9 mitāyā vivardhate • evaṃ śīlapāramitāyā kṣāntipāramitāyā •  
vīryapāramitāyā dhyānapāramitāyā prajñāpāramitāyā vivardhate •  
bodhisatvanyāmam avakrāmati • avāivartyabhūmim ākrāma-

10 ty abhijñāḥ paripūrayati • abhijñāḥ paripūrya buddhakṣetreṇa  
buddhakṣetraṃ saṃkrāmati satvān paripācayan buddhān\* bhagavataḥ  
satkurvan gurukurvan mānayan pūjayan buddhakṣetrapariśodhanatāyai  
buddhānāṃ

11 bhagavatāṃ darśanat(ā)yai{h}<sup>59</sup> tāmś ca buddhān bhagavataḥ satkṛtya  
gurukṛtya mānayitvā pūjayitvā yaiḥ kuśalamūlair ākāṃkṣiṣyati • tān  
buddhān bhagavataḥ satkartuṃ gurukartuṃ mānayituṃ pūjayituṃ tāni cā-  
12 sya kuśalamūlāni prādurbhaviṣyanti • teneva ca kuśalamūlena teṣāṃ  
buddhānāṃ bhagavatāṃ antika prādurbhaviṣyati • || teṣāṃ ca buddhānāṃ  
bhagavatāṃ antikā dharmāṃ śroṣyati • śrutaś ca saddharmo na jātvā  
13 cchetsyate • || yāvad anuttarāṃ samyaksaṃbodhim abhisamḃhotsyate •  
dhāraṇīmukhāni na pratilapsyate samādhimukhāni ca pratilapsyate • || evaṃ  
khalu subhūte bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ

## Kj

乃至不著意觸因緣生受。若苦、若樂、若不苦、不樂、不著有爲性、不著無爲性、  
不著檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜・羼提波羅蜜・毘梨耶波羅蜜・禪那波羅蜜・般若  
波羅蜜、不著三十二相、不著菩薩身、不著菩薩肉眼乃至不著佛眼、不著智波羅蜜、  
不著神通波羅蜜、不著內空乃至不著無法有法空、不著成就衆生、不著淨佛國土、  
不著方便法。何以故。是諸法無著者、無著法、無著處、皆無故。如是、須菩提、  
菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、不著一切法、便增益檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜・羼  
提波羅蜜・毘梨耶波羅蜜・禪那波羅蜜・般若波羅蜜。入菩薩位、得阿惟越致地、  
具足菩薩神通、遊一佛國至一佛國、成就衆生、恭敬・尊重・讚歎諸佛、爲淨佛  
國土、爲見諸佛供養・供養之具、善根成就、故隨意悉得。亦聞諸佛所說法、聞  
已、乃至阿耨多羅三藐三菩提、終不忘失、得諸陀羅尼門諸三昧門。如是、須菩提、  
菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時、

(LPG 45v)<sup>60</sup> Dhr 163c15~164a8; Mo 12a15~26; Kj 231c10~20; Xz(II)  
32c28~33b20(the order of descriptions is completely different from LPG;  
parts of this section are parallel to 46r); Xz(III) 449b26~c9; PvsP(K) I-1  
131.15~135.6 (the order of descriptions is completely different from LPG;

<sup>59</sup> darśanat(ā)yai{h}: ŚsP(Gh): darśanāyai.

<sup>60</sup> ŚsP(Gh) 382.9~385.14; ŚsP(Tib.D) ka 239a4~242a3; Xz(I) 72a19~72b7.

parts of this section are parallel to 46r); PvsP(D) 107.18~109.14 (do.); AdsP(Tib.U) ka 83b6~84a6; AdsP(Tib.S) ka 94a7~95a2; AdsP(Tib.Pk) ni 56b8~57a7; AdsP(Tib.D) ka 63a6~63b5; PvsP(Tib.U) ka 117b3~118b2; PvsP(Tib.S) ka 130b3~131b5; PvsP(Tib.Pk) nyi 100a4~101a2; PvsP(Tib.D) ka 99a1~99b5

1 caratā nāmasaṃketikī dharmaprajñaptir avaboddhavyā • || tat kiṃ manyase subhūte cakṣur bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte vedanā saṃjñā saṃskārā vijñā(naṃ)<sup>61</sup>

2 bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte cakṣur bodhisatva iti • śrotraṃ ghrāṇaṃ jihvā kāya mano bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha •

3 tat kiṃ manyase subhūte rūpaṃ bodhisatva iti • śabda gandho rasa sparśo dharmā bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte cakṣurvijñānaṃ bodhisatva iti •

4 śrotravijñānaṃ ghrāṇavijñānaṃ jihvāvijñānaṃ kāyavijñānaṃ manovijñānaṃ bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte pṛthivīdhātur bodhisatva iti • abdhā-

5 tus tejodhātur bāyudhātur<sup>62</sup> ākāśadhātur vijñānadhātur bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte avidyā bodhisatva iti • saṃskārā vijñānaṃ bodhi-

6 satva iti • nāmarūpaṃ ṣaḍāyatanam sparśo vedanā tṛṣṇā upādānaṃ bhavo jātir jarāmaṇaṃ bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatra

7 rūpād bodhisatva iti • anyatra vedanāyāḥ saṃjñāyāḥ saṃskārebhyo (')nyatra vijñānād bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatra cakṣuṣo bo-

<sup>61</sup> vijñā(naṃ): ŚsP(Gh): tat kiṃ manyase subhūte bodhisattve vijñānaṃ iti.

<sup>62</sup> bāyudhātur: *Read* vāyudhātur.

8 dhisatva iti • anyatra śrotrād ghrāṇā jihvāyā kāyād anyatra manaso bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte (')nyatra rūpād bodhisatva iti • a-

9 nyatra śabdagandharasasparśadharmebhyo bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte (')nyatra cakṣurvijñānād bodhisatva iti • yāvad anyatra śrotraghrāṇa-

10 jihvākāyamanovijñānād bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatra pṛthivīdhātor bodhisatva iti • āha • anyatrābdhātos tejodhā-

11 tor vāyudhātor ākāśadhātor anyatra vijñānadhātor bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte (')nyatrāvidyāyā bodhisatva iti • yāvad anyatra jarāma-

12 raṇād bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpe bodhisatva iti • vedanāyām saṃjñāyām saṃskāreṣu vijñāne bodhisatva iti • āha •

13 (n)o [h]idaṃ bha[gavan]\* bhaga(vān ā)ha • tat kiṃ manya<se> subh(ū)te (ca)kṣ[u]ṣi bodhisatva iti • śrotre ghrāṇe jihvāyām kāye manasi bodhisatva iti • || āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavā-

## Kj

當知諸法、名假施設。須菩提、於汝意云何色是菩薩不。受・想・行・識是菩薩不  
 「不也、世尊」「眼・耳・鼻・舌・身・意是菩薩不」「不也、世尊」「色・聲・香・味・觸・法是菩薩不」「不也、世尊」「眼識乃至意識是菩薩不」「不也、世尊」「須菩提、於汝意云何、地種是菩薩不」「不也、世尊」「水・火・風・空・識・種是菩薩不」「不也、世尊」「於須菩提意云何、無明是菩薩不」「不也、世尊」「乃至老死是菩薩不」「不也、世尊」「於須菩提意云何、離色、離受・想・行・識乃至離老死、是菩薩不」「不也、世尊」

(LPG 46r)<sup>63</sup> Dhr 164a8; Mo 12a26; Kj 231c20; Xz(II) 33a8~b20(the order of descriptions is completely different from LPG; parts of this section are parallel to 45v); Xz(III) 449c9~450a18; PvsP(K) I-1 131.26~135.6 (the order of descriptions is completely different from LPG; parts of this section are parallel to 45v); PvsP(D) 107.18~109.16 (do.); AdsP(Tib.U) ka 84a7~85b5; AdsP(Tib.S) ka 95a2~96b6; AdsP(Tib.Pk) ni 57a7~58a8; AdsP(Tib.D) ka 63b5~64b7; PvsP(Tib.U) ka 118b2~122a4; PvsP(Tib.S) ka 131b5~135b6; PvsP(Tib.Pk) nyi 101a2~104a1; PvsP(Tib.D) ka 99b5~102b5

1 (n ā)ha • tat ki(ṃ) many(ase) [s]ubhū(te rūpe bo)dhisatva (i)t(i) śa(b)d(a)-ga(n)dh(arasaspar)[ś](a)dharmaṣu bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte • cakṣurdhātau bodhisatva iti  
 2 śrotraghrāṇajihvākāyamanodhātau bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte • pṛthividhātau bodhisatva iti • abdhātau tejodhātau vāyudhātāv ākāśadhā-  
 3 tau vijñānadhātau bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte • avidyāyāṃ bodhisatva iti • yāvaj jarāmaṇe bodhisatva iti • || āha • no hīdaṃ bhagavan\*  
 4 bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte • rūpe bodhisatvam<sup>64</sup> iti • bodhisatve vedanā saṃjñā saṃskārā bodhisatve vijñānam iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte • bodhisa-  
 5 tve [ca]kṣur iti • bodhisatve śrotraṃ ghrāṇaṃ jihvā kāyo bodhisatve mana iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte • bodhisatve rūpam iti<sup>65</sup> • bodhisatve śabda gandho rasa spa-  
 6 rśo bodhisatve [dha]rmā iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte bodhisatve cakṣurvijñānam iti • bodhisatve śrotraghrāṇajihvākāyamanovijñānam iti • || āha • no

<sup>63</sup> ŚsP(Gh) 385.14~399.5; ŚsP(Tib.D) ka 242a3~254a5; Xz(I) 72b15~81c20.

<sup>64</sup> rūpe bodhisatvam: *Read* bodhisatve rūpam.

<sup>65</sup> cf. Xz(III): 菩薩中有色處乃至法處耶.



7 hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte bodhisatve  
pṛthivīdhātur iti • bodhisatve abdhātus tejodhātur bāyudhātur<sup>66</sup> ākāśadhātur  
bodhisatve vijñānadhātur iti « | | » ā[ha] no hīdaṃ bhagavan\*

8 bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte bodhisatve avidyeti • yāvad  
bodhisatve jarāmaraṇam iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat  
kiṃ manyase subhūte arūpo bodhisatva iti •

9 avedanaḥ asaṃjñā asaṃskāra avijñāno bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ  
bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte acakṣuṣko bodhisatva iti •  
āśrotro aghrāṇa ajihvā akāya

10 a<ma>nasko bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat  
kiṃ manyase subhūte arūpo bodhisatva iti • aśabda agandha arasa asparśa  
adharmā bodhisatva iti • āha • no hī-

11 daṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte acakṣurvijñāno  
bodhisatva iti • āśrotravijñāna aghrāṇavijñānaḥ ajihvāvijñāna akāyavijñānaḥ  
amanovijñāno bodhisatva iti • ā-

12 ha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte  
apṛthivīdhātur bodhisatva iti • anabdhātu atejodhātu avāyudhātu  
anākāśadhātu avijñānadhātur bodhisatva iti •

13 āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte  
anavidyo bodhisatva iti • yāvad ajarāmaraṇo bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ  
bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase

## Kj

「須菩提、於汝意云何、

(LPG 46v)<sup>67</sup> Dhr 164a8~12; Mo 12a26~29; Kj 231c20~23; Xz(II) 33c4~9;  
Xz(III) 450a18~23; PvsP(K) I-1 135.6~136.4 (The description is different);

<sup>66</sup> bāyudhātur: *Read* vāyudhātur.

<sup>67</sup> ŚsP(Gh) 399.5~402.18; ŚsP(Tib.D) ka 254a5~257b1; Xz(I) 81c20~83b17; 81c24~82a9.

(120)

PvsP(D) 109.16~110.10; AdsP(Tib.U) ka 85b5~86a3; AdsP(Tib.S) ka 96b6~97a5; AdsP(Tib.Pk) ni 58a8~b4; AdsP(Tib.D) ka 64b7~65a4; PvsP(Tib.U) ka 122a4~b8; PvsP(Tib.S) ka 135b6~137a1; PvsP(Tib.Pk) nyi 104a1~b3; PvsP(Tib.D) ka 102b5~103b2

1 subhūte yā rūpasya tathatā sa bodhisatva iti • yā vedanāyās tathatā • yā saṃjñāyās tathatā • yā saṃskārāṇaṃ tathatā yā vijñānasya tathatā sa bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\*

2 bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte yā cakṣustathatā sa bodhisatva iti • yā śrotratathatā ghrānatathatā jihvātathatā kāyatathatā manastathatā sa bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bha-

3 gavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte yā rūpatathatā sa bodhisatva iti • yā śabdatathatā gandhatathatā rasatathatā sparśatathatā dharmatathatā sa bodhisatva iti • āha • no

4 hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte yā cakṣurvijñānatathatā sa bodhisatva iti • yā śrotravijñānatathatā ghrānavijñānatathatā • jihvāvijñānatathatā • kāyavijñānatatha-

5 (tā) manovijñānatathatā sa bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte yā pṛthividhātutathatā sa bodhisatva iti • yā abdhātutathatā tejodhā-

6 tutathatā • vāyudhātutathatā ākāśadhātutathatā vijñānadhātutathatā sa bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte yā avidyātathatā sa bodhisa-

7 tva iti • yāvad ya jarāmaraṇatathatā sa bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatra rūpatathatāyā bodhisatva iti • yāvad anyatra vijñānata-

8 thatāyā bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte (')nyatra cakṣustathatāyā bodhisatva iti • yāvan manastathatāyā bodhisatva iti • āha • no hī-

9 daṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatra rūpatathatāyā bodhisatva iti • yāvad anyatra manastathatāyā bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ

10 manyase subhūte anyatra cakṣurvijñānatathatāyāṃ bodhisatva iti • yāvad anyatra manovijñānatathatāyā bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatra

11 tra pṛthividhātutathatāyā bodhisatva iti • yāvad anyatra vijñānadhātutathatāyā bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anyatrāvijñātathatā-

12 yā bodhisatva iti • yāvad anyatra jarāmaṇatathatāyā bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpatathatāyāṃ bodhisatva iti • yāvad vijñā-

13 (nata)thatāyāṃ bodhisatva i(t)i (• ā)ha • no hidaṃ bhagavan\* bhaga(vān) āha • tat kiṃ manyase subhūte cakṣustathatāyāṃ bodhisatva iti yāvan manaḥtathatāyāṃ bodhisatva iti

## Kj

色如相是菩薩不」「不也、世尊」「乃至老死如相是菩薩不」「不也、世尊」「離色如相乃至離老死如相、是菩薩不」「不也、世尊」

(LPG 47r)<sup>68</sup> Dhr 164a12~14; Mo 12a29~b1; Kj 231c23~24; Xz(II) 33c9~34b2(the order of descriptions is completely different from LPG; parts of this section are parallel to 47v, 48r); Xz(III) 450a23~c2(the order of descriptions is completely different from LPG; parts of this section are parallel to 47v, 48r); PvsP(K) I-1 136.4~138.24(The description is different); PvsP(D) 110.10~111.18; AdsP(Tib.U) ka 86a3~6; AdsP(Tib.S) ka 97a5~b2; AdsP(Tib.Pk) ni 58b4~7; AdsP(Tib.D) ka 65a4~65a6; PvsP(Tib.U) ka 122b8~128a6; PvsP(Tib.S) ka 137a1~142b5; PvsP(Tib.Pk) nyi 104b3~108b8;

<sup>68</sup> ŚsP(Gh) 402.19~419.18; ŚsP(Tib.D) ka 257b1~271a3; Xz(I) 82a10~83b11; 75c21~76a23.

(122)

PvsP(Tib.D) ka 103b2~107b5; IOL San 1492/05 r1~06r2

1 (ā)[h](a) • n[o] h[i]da(m) bhagavan(\*) bh(agavān āha) • tat k(iṃ) manya(se)  
[s]u[bh]ūt(e) • rūpatathatāyāṃ bodhisatva iti • yāva dharmatathatāyāṃ  
bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ ma-  
2 nyase subhūte cakṣurvijñānatathatāyāṃ bodhisatva iti • yāvan  
manovijñānadhātutathatāyāṃ bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\*  
bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte pṛthivīdhātutathatāyāṃ  
3 bodhisatva iti • yāvad vijñānadhātutathatāyāṃ bodhisatva iti • āha • no  
hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte avidyātathatāyāṃ  
bodhisatva iti • yāvaj jarāmaṇatatha-  
4 tāyāṃ bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ  
manyase subhūte bodhisatve rūpatathateti • yāvad bodhisatve vijñānatathateti •  
āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ  
5 manyase subhūte bodhisatve cakṣustathateti yāvad bodhisatve  
manastathateti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase  
subhūte bodhisatve rūpatathateti yāvad bodhisatve dharmatatha-  
6 teti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte  
bodhisatve cakṣurvijñānatathateti • yāvad bodhisatve manovijñānatathateti •  
āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • ta-  
7 t kiṃ manyase subhūte bodhisatve pṛṛṛṛhivīdhātutathateti • yāvad  
bodhisatve vijñānatathateti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat  
kiṃ manyase subhūte bodhisatve avidyātathateti • yāvad bo-  
8 dhisatve jarāmaṇatathateti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān  
āha • tat kiṃ manyase subhūte arūpatatha{ta}to bodhisatva iti • yāvad  
avijñānatathato bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ  
9 (bha)gavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte acakṣustathato  
bodhisatva iti • yāvad amanastathato bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ  
bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte arūpa-

10 tathato bodhisatva iti • yāvad adharmatathato bodhisatva iti •  
 āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte  
 acakṣurvijñānatathato bodhisatva iti • yāvad amanovijñānata-  
 11 thato bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ  
 manyase subhūte aprthivīdhātutathato bodhisatva iti • yāvad avijñānatathato  
 bodhisatva iti • āha • no hidaṃ  
 12 bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte anavidyātathato  
 bodhisatva iti • yāvad ajarāmarāṇatathato bodhisatva iti • āha • no hidaṃ  
 bhagavan\* bhagavān āha • kaṃ punas tvaṃ su-  
 13 bhūte arthavaśaṃ sampaśyann evaṃ vadasi • na rūpaṃ bodhisatvaḥ  
 na vedanā na saṃjñān na saṃskārān na vijñānaṃ bodhisatvaḥ na cakṣur  
 bodhisatvaḥ na śrotraṃ na ghrāṇaṃ na jihvā na kāyo na mano bodhisatvaḥ

## Kj

佛告須菩提「汝觀何等義、言色非菩薩、

(LPG 47v)<sup>69</sup> Dhr 164a14~16; Mo 12b1~2; Kj 231c24~27; Xz(II) 33c9~34b2 (the order of descriptions is completely different from LPG; parts of this section are parallel to 47r, 48r); Xz(III) 450a23~c2 (do.); PvsP(K) I-1 138.24~139.16 (the description is different); PvsP(D) 111.18~112.6; AdsP(Tib.U) ka 86a6~7; AdsP(Tib.S) ka 97b2; AdsP(Tib.Pk) ni 58b7~8; AdsP(Tib.D) ka 65a6; PvsP(Tib.U) ka 128a6~129a7; PvsP(Tib.S) ka 142b5~144a2; PvsP(Tib.Pk) nyi 108b8~109b5; PvsP(Tib.D) ka 107b5~108b3; IOL San 1492/06 r2~v6

1 na rūpaṃ bodhisatvaḥ na śabda na gandho na raso na sparśo na dharmo  
 bodhisatvaḥ na cakṣurvijñānaṃ bodhisatvaḥ na śrotravijñānaṃ na  
 ghrāṇavijñānaṃ na jihvāvijñānaṃ na kāyavijñānaṃ na manovijñānaṃ

<sup>69</sup> ŚsP(Gh) 419.21~431.16, 424.12; ŚsP(Tib.D) ka 271a3~280b2; Xz(I) 76a24~78a19; 85c22~88b19; 85c28~29.

bodhisa-

2 tvaḥ na pṛthivīdhātur bodhisatvaḥ nābdhātur na tejodhātur na vāyudhātur  
nākāśadhātur na vijñānadhātur bodhisatvaḥ nāvidyā bodhisatvaḥ yāvan na  
jarāmaraṇaṃ bodhisatvaḥ nānyatra rūpād bodhisatvaḥ

3 yāva nānyatra vijñānād bodhisatvaḥ nānyatra cakṣuṣo bodhisatvaḥ yāva  
nānyatra manaso bodhisatvaḥ nānyatra rūpād bodhisatvaḥ yāvan nānyatra  
dharmebhyo bodhisatvaḥ nānyatra cakṣurvijñānād bodhisatvaḥ

4 nānyatra cakṣurvijñānād bodhisatvaḥ yāva nānyatra manovijñānād  
bodhisatvaḥ nānyatra pṛthivīdhātor bodhisatvaḥ yāvan nānyatra  
vijñādhāto<r> bodhisatvaḥ nānyatra <a>vidyāyā bodhisatvaḥ yāvan nānyatra  
jarā-

5 maranād bodhisatvaḥ na rūpe bodhisatvaḥ yāvan na vijñāne bodhisatvaḥ na  
cakṣuṣi bodhisatvaḥ yāvan na manasi bodhisatvaḥ na rūpe bodhisatvaḥ yāvan  
na dharme bodhisatvaḥ na cakṣurvijñāne

6 bodhisatvaḥ yāvan na manovijñāne bodhisatvaḥ na pṛthivīdhātau  
bodhisatvaḥ yāvan na vijñā<na>dhātau bodhisatvaḥ nāvidyāyāṃ bodhisatvaḥ  
yāvan na jarāmaraṇe bodhisatvaḥ na bodhisatve rūpaṃ •

7 yāvan na bodhisatve vijñānaṃ • na bodhisatve cakṣuḥ yāvan na bodhisatve  
cakṣuḥ yāvan na bodhisatve manaḥ na bodhisatve rūpaṃ • yāvan na  
bodhisatve dharmāḥ na bodhisatve cakṣurvijñānaṃ yāvan na bo-

8 dhisatve manovijñānaṃ na bodhisatve pṛthivīdhātuḥ yāvan na bodhisatve  
vijñānadhātuḥ na bodhisatve avidyāḥ yāvan na bodhisatve jarāmaraṇaṃ • na  
rūpī bodhisatvaḥ yāvan nāvijñāno

9 bodhisatvaḥ nācakṣuṣko bodhisatvaḥ yāvan na manasko bodhisatvaḥ <na>  
nāmarūpo bodhisatvaḥ yāvan nādharmā bodhisatvaḥ nācakṣurvijñānaṃ  
bodhisatvaḥ yāvan nāmanovijñāno bodhisatvaḥ nāpṛ-

10 thivīdhātur bodhisatvaḥ yāvan nāvijñānadhātur bodhisatvaḥ nānavidyō  
bodhisatvaḥ yāvan nājarāmaraṇo bodhisatvaḥ na rūpatathatā bodhisatvaḥ na  
vedanātathatā bodhisatvaḥ na saṃjñātathatā

11 na saṃskāratathatā • na vijñānatathatā bodhisatvaḥ na cakṣustathatā  
 bodhisatvaḥ na śrotratathatā na ghrāṇatathatā na jihvātathatā na  
 kāyatathatā na manastathatā bodhisatvaḥ na rūpatatha-  
 12 tā bodhisatvaḥ yāvan na dharmatathatā bodhisatvaḥ na cakṣurvijñāna-  
 tathatā bodhisatvaḥ yāvan na manovijñānatathatā bodhisatvaḥ na  
 pṛthividhātutathatā bodhisatvaḥ yāvan na vijñānadhā-  
 13 (tu)tathatā bodhisa(tva)ḥ {nā[v]i(dy)ātathatā bodhisatvaḥ} [n]āvidyātathatā  
 bodhisatvaḥ yāvan nājarāmarāṇatathatā<sup>70</sup> bodhisatvaḥ nānyatra rūpatathatāyā  
 bodhisatvaḥ yāva-

## Kj

乃至老・死非菩薩。離色非菩薩、乃至離老・死非菩薩。色如相非菩薩、乃至老・  
 死如相非菩薩。離色如相非菩薩、乃至

(LPG 48r)<sup>71</sup> Dhr 164a16~27; Mo 12b3~9; Kj 231c27~232a6; Xz(II) 33c14~34b2  
 (the order of descriptions is completely different from LPG; parts of this  
 section are parallel to 47r~v), 34b2~17; Xz(III) 450b1~c2 (do.), 450c2~13;  
 PvsP(K) I-1 139.17~141.3; PvsP(D) 112.6~113.10; AdsP(Tib.U) ka 86a7~87a4;  
 AdsP(Tib.S) ka 97b2~98b2; AdsP(Tib.Pk) ni 58b8~59b2; AdsP(Tib.D) ka  
 65a6~66a2; PvsP(Tib.U) ka 129a7~131b2; PvsP(Tib.S) ka 144a2~146b2;  
 PvsP(Tib.Pk) nyi 109b5~111a8; PvsP(Tib.D) ka 108b3~110a7

1 + (tra) [v](ij)[ñāna]dhā[t]u .. + + + + [y]ā<sup>72</sup> b(o)dhisatvaḥ nānya[t]ra ca[kṣ]u[s]-  
 tatha[t]ā[y]ā bodhisatvaḥ yāvan nānyatra manastathatāyā bodhisatvaḥ nānyatra  
 rūpatathatāyā bodhisatvaḥ yāvan nā[n]yatra dharmā-

2 (ta)thatāyā bodhisatvaḥ nānyatra cakṣurvijñānastathatāyā bodhisatvaḥ  
 yāvan nānyatra manovijñānadhātutathatāyā bodhisatvaḥ nānyatra

<sup>70</sup> nājarāmarāṇatathatā: *Read* na jarāmarāṇatathatā.

<sup>71</sup> ŚsP(Gh) 424.12~455.15; ŚsP(Tib.D) ka 280b2~296b7; Xz(I) 85c29~88c1; 92b21~c4.

<sup>72</sup> + (tra) [v](ij)[ñāna]dhā[t]u .. + + + + [y]ā: *Read* n nānyatra vijñānadhātutathatāyā.

(126)

pr̥thivīdhātutathatāyā bodhisatvaḥ yāvan nānyatra vijñānadhātu-  
3 tathatāyā bodhisatvaḥ nānyatrāvidyātathatāyā bodhisatvaḥ yāvan nānyatra  
jarāmarāṇatathatāyām bodhisatvaḥ na rūpatathatāyām bodhisatvaḥ yāvan  
na vijñānadhātutathatāyām bodhisatvaḥ na cakṣu-

4 stathatāyām bodhisatvaḥ yāvan na manastathatāyām bodhisatvaḥ na  
rūpatathatāyām bodhisatvaḥ yāvan na dharmatathatāyām bodhisatvaḥ na  
cakṣurvijñānatathatāyām bodhisatvaḥ yāvan na manovijñānatathatā-

5 yām bodhisatvaḥ na pr̥thivīdhātutathatāyām bodhisatvaḥ yāvan na  
vijñānadhātutathatāyām bodhisatvaḥ nāvidyātathatāyām bodhisatvaḥ yāvan  
na jarāmarāṇatathatāyām bodhisatvaḥ na bodhisatve rū-

6 patathatā yāvan na bodhisatve vijñānatathatā na bodhisatve cakṣustathatā • yāvan  
na bodhisatve manastathatā • na bodhisatve rūpatathatā • yāvan na bodhisatve  
dharmatathatā na bodhisatve cakṣurvijñāna-

7 stathatā • yāvan na bodhi<satve> manovijñānatathatā • na bodhisatve  
pr̥thivīdhātutathatā yāvan na bodhisatve vijñānadhātutathatā • na bodhisatve  
avidyātathatā • yāvan na bodhisatve jarāmarāṇa-

8 tathatā • nārūpatathato bodhisatvaḥ yāvan nāvij(ñ)ānatathato bodhisatvaḥ  
nācakṣustathato bodhisatvaḥ yāvan nāmanastathato bodhisatvaḥ  
nārūpatathato bodhisatvaḥ yāvan nādharmatathato bo[dh]i-

9 satvaḥ nācakṣurvijñānatathato bodhisatvaḥ yāvan nāmanovijñānatathato  
bodhisatvaḥ nāpr̥thivīdhātutathato bodhisatvaḥ yāvan nāvijñānadhātutathato  
bodhisatvaḥ nānavidyātathato bodhisatvaḥ yā-

10 van nājarāmarāṇatathato bodhisatvaḥ || subhūtir āha • atyantatayā  
bhagavan bodhisatvo na saṃvidyate nopalabhyate • || tat kuto rūpaṃ  
bodhisatvo bhaviṣyati • kuto (')nyatra rūpād bodhisatvo bhavi-

11 ṣyati • yāvat kuto jarāmarāṇaṃ bodhisatvo bhaviṣyati • kuto (')nyatra  
jarāmarāṇād bodhisatvo bhaviṣyati • kuto rūpatathatā bodhisatvo bhaviṣyati •  
kuto (')nyatra rū<pa>tathatāyā bodhisatvo bhaviṣyati • yāvat ku-

12 t[o] jarāmarāṇatathatā bodhisatvo bhaviṣyati • kuto (')nyatra



jarāmarañatathatāyā bodhisatvo bhaviṣyati • nedaṃ sthānaṃ vidyate  
bhagavan āha • sādhu sādhu subhūte evaṃ khalu subhūte bodhisa-  
13 (tv)ena mahāsatvena satvānupa<la>bdhitayā prajñāpāramitānupala-  
bdhitāyāṃ śikṣitavyam\* || tat kiṃ manyase subhūte rūpasyaitad  
adhivacanāṃ bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan [bh]agavā-

## Kj

離老・死如相非菩薩」須菩提言「世尊、衆生畢竟不可得、何況當是菩薩。色不可得、何況色離色、色如離色。如是、菩薩、乃至老・死不可得、何況老・死離老・死。老・死如離老・死、如是菩薩」佛告須菩提「善哉、善哉、如是。須菩提、菩薩摩訶薩、衆生不可得故、般若波羅蜜亦不可得。當作是學、於須菩提意云何、色是菩薩義不」「不也、世尊、

(LPG 48v)<sup>73</sup> Dhr 164a28~b19; Mo 12b9~14; Kj 232a6~24; Xz(II) 34b17~c18; Xz(III) 450c13~451b2; PvsP(K) I-1 141.3~142.1; PvsP(D) 113.10~113.22; AdsP(Tib.U) ka 87a4~87b6; AdsP(Tib.S) ka 98b2~99a6; AdsP(Tib.Pk) ni 59b2~60a2; AdsP(Tib.D) ka 66a2~b1; PvsP(Tib.U) ka 131b2~133b4; PvsP(Tib.S) ka 146b2~149b7; PvsP(Tib.Pk) nyi 111a8~113a4; PvsP(Tib.D) ka 110a7~112a4

1 (n ā)ha • tat kiṃ manyase subhūte vedanāyāḥ saṃjñāyāḥ saṃskārāṇaṃ vijñānasyaitad adhvacanāṃ bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpanityatāyā eta-

2 (d a)dhivacanāṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānānityatāyā etad adhvacanāṃ bodhisatva iti • āha • no hidaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpānityatāyā<sup>74</sup> etad adhvacanāṃ bo-

3 dh(i)satva iti • yāvad vijñānānityatāyā etad adhvacanāṃ bodhisatva

<sup>73</sup> ŚsP(Gh) 455.15~461.11; ŚsP(Tib.D) ka 296b7~301b2; Xz(I) 92c4~93a3.

<sup>74</sup> rūpānityatāyā: *Read* rūpānityatāyā. See Edgerton[1953], 9.45.

iti • āha • no hīdaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpasukhatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti •

4 yāvad vijñānasukhatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpāduḥkhatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñā-

5 naduḥkhatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpātmatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānātmatāyā

6 etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • āha • no hīdaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpātmatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānātmatāyā eta-

7 d adhivacanaṃ bodhisatva iti • || āha • no hīdaṃ bhagavan bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpaśāntatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānaśāntatāyā etad adhiva-

8 canaṃ bodhisatva iti • || āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpāśāntatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānaśāntatāyā<sup>75</sup> etad adhivacanaṃ bodhi-

9 satva iti • || āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpaśunyatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānaśunyatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti •

10 āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpāśunyatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānaśunyatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • ā-

11 ha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte rūpānimittatāyā<sup>76</sup> etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad vijñānanimittatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti •

12 āha • no hīdaṃ bhagavan\* bhagavān āha • tat kiṃ manyase subhūte

---

<sup>75</sup> vijñānaśāntatāyā: *Read* vijñānaśāntatāyā.

<sup>76</sup> rūpānimittatāyā: *Read* rūpanimittatāyā.

rūpānimitatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti yāvad vijñānānimitatāyā  
etad adhivacanaṃ bodhisa-

13 (tva i)ti • āha • no hidaṃ bha[ga](va)n\* bhagavān āha • (ta)t (k)iṃ man(y)ase  
s(u)bh(ū)te rūpaprāṇihitatāyā etad adhivacanaṃ bodhisatva iti • yāvad  
vijñānaprāṇihitatāyā etad a-

## Kj

受・想・行・識是菩薩義不」「不也、世尊」「於須菩提意云何。色常是菩薩義不」  
「不也、世尊」「受・想・行・識常是菩薩義不」「不也、世尊」「色無常是菩薩義不」  
「不也、世尊」「受・想・行・識無常是菩薩義不」「不也、世尊」「色樂是菩薩義不」  
「不也、世尊」「受・想・行・識樂是菩薩義不」「不也、世尊」「色苦是菩薩義不」  
「不也、世尊」「受・想・行・識苦是菩薩義不」「不也、世尊」「色我是菩薩義不」  
「不也、世尊」「受・想・行・識我是菩薩義不」「不也、世尊」「色非我是菩薩義不」  
「不也、世尊」「受・想・行・識非我是菩薩義不」「不也、世尊」「於須菩提意云何。  
色空是菩薩義不」「不也、世尊」「受・想・行・識空、是菩薩義不」「不也、世尊」「色  
非空是菩薩義不」「不也、世尊」「受・想・行・識非空是菩薩義不」「不也、世尊」  
「色相是菩薩義不」「不也、世尊」「受・想・行・識相是菩薩義不」「不也、世尊」「色  
無相是菩薩義不」「不也、世尊」「受・想・行・識無相是菩薩義不」「不也、世尊」  
「色作是菩薩義不」「不也、世尊」「受・想・行・識作、

(LPG 49r)<sup>77</sup> Dhr 164b20~c3; Mo 12b14~22; Kj 232a24~b9; Xz(II) 34c18~20,  
41c10~42a9; Xz(III) 451b2~3, 453b15~20; PvsP(K) I-1 142.1~144.2; PvsP(D)  
113.22~114.18; AdsP(Tib.U) ka 87b6~88b2; AdsP(Tib.S) ka 99a6~100a4;  
AdsP(Tib.Pk) ni 60a2~60b5; AdsP(Tib.D) ka 66b1~67a4; PvsP(Tib.U) ka  
133b4~135a7; PvsP(Tib.S) ka 149b7~151a5; PvsP(Tib.Pk) nyi 113a4~114b8;  
PvsP(Tib.D) ka 112a4~114a1

1 (dhivaca)na(ṃ) [bodhi]s(a)tv(a) i(ti) [• āha • no] hidaṃ bhagavan\* [bhagavān

<sup>77</sup> ŚsP(Gh) 460.17~467.8; ŚsP(Tib.D) ka 301b3~306a7; Xz(I) 93a3-6; 129b22~196b6.

(130)

ā]ha • tat kiṃ manyase subhūte rū[p]āpraṇihitatāyā etad adhivacanam  
bodhisatva iti • yāvad vijñānā-

2 praṇihitatāyā etad adhivacanam bodhisatva iti • || subhūtir āha •  
(a)tyantatayā bhagava(ṃ) rūpaṃ na saṃvidyate nopalabhyate • kuto  
rūpādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • atyanta-

3 tayā bhagavan vedanā saṃjñā saṃskarā vijñānam na saṃvidyate  
nopalabhyate • || [ku]to yāvad vijñānādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati •  
atyanta<ta>yā bhagavan nityam na saṃvidyate nopalabhyate ku-

4 to rūpanityādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto  
vijñānanityā(dhi)[vaca]nam bodhisatvo bhaviṣyati • || atyantatayā  
bhagavann anityam na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpanityādhi-

5 <va>canam bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vijñānanityādhivacanam  
bo[dhisa]tvo bhaviṣyati • atyantatayā bhagavan sukham na saṃvidyate  
nopalabhyate • kuto rūpasukhādhivacanam

6 bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vi(jñā)nasukhādhivacanam bodhi-  
[sa]t[v]o bha[vi]ṣyati • || atya<nta>tayā bhagavan duḥkham na saṃvidyate  
nopalabhyate • kuto rūpaduḥkhādhivacanam bodhisa-

7 tvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vijñānaduḥkhādhivacanam bodhisatvo  
bhaviṣyati • atya<nta>tayā bhagavann ātmā na saṃvidyate nopalabhyate •  
kuto rūpātmādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • yā-

8 vat kuto vijñānātmādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • atyanta[t]ayā  
bhagavan n(ai)rātmayam na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpanairātmā-  
dhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vijñānanairā-

9 tmyādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • || atyantatayā bhagavamc  
chāntam na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpaśāntādhivacanam  
bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vijñānaśāntādhivacanam bo-

10 dhisatvo bhaviṣyati • atyantatayā bhagavann aśāntam na saṃvidyate  
nopalabhyate • kuto rūp[ā]śāntādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • || yāvāt  
kuto vijñānaśāntādhivacanam bodhisatvo bhavi-

11 ṣyati • atyantatayā bhagavan bhāvo na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpāśunyādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vijñānāśunyādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • atyantata-

12 yā bhagavaṃc chunyaṃ na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpāśunyādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • || yāvāt kuto vijñānāśunyādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • atyantayā bhagavan nimi-

13 ttaṃ na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpanimittādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • yāvāt kuto vijñānanimittādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • atyantatayā bhagavann ani-

## Kj

是菩薩義不」「不也、世尊」「色無作是菩薩義不」「不也、世尊」「受・想・行・識無作是菩薩義不」「不也、世尊。乃至老死亦如是」佛告須菩提「汝觀何等義言色非菩薩義。受・想行・識非菩薩義、乃至色・受・想・行・識無作非菩薩義、乃至老・死亦如是」須菩提白佛言「世尊、色畢竟不可得、何況色是菩薩義。受・想・行・識亦如是。世尊、色常畢竟不可得、何況色無常是菩薩義、乃至識亦如是。世尊、色樂畢竟不可得、何況色苦是菩薩義、乃至識亦如是。世尊、色我畢竟不可得、何況色非我是菩薩義、乃至識亦如是。世尊、色有畢竟不可得、何況色空是菩薩義、乃至識亦如是。世尊、色相畢竟不可得、

(LPG 49v)<sup>78</sup> Dhr 164c4~11; Mo 12b22~27; Kj 232b9~15; Xz(II) 42a6~b9; Xz(III) 453b20~c6; PvsP(K) I-1 144.2~145.6; PvsP(D) 114.18~115.1; AdsP(Tib. U) ka 88b2~89a5; AdsP(Tib.S) ka 100a4~101a2; AdsP(Tib.Pk) ni 60b5~61a3; AdsP(Tib.D) ka 67a4~b3; PvsP(Tib.U) ka 135a7~137a2; PvsP(Tib.S) ka 151a5~152b2; PvsP(Tib.Pk) nyi 114b8~115b7; PvsP(Tib.D) ka 114a1~b7

1 mittam na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpanimittādhivacanam bodhisatvo bhaviṣyati • || yāvāt kuto vijñānanimittādhivacanam bodhisatvo

<sup>78</sup> ŚsP(Gh) 466.16~470.8; ŚsP(Tib.D) ka 306a7~308a5; Xz(I) 196b6~199a14.

(132)

- bhaviṣyati • atyantatayā bhagavan\* praṇidhā-  
2 naṃ na saṃvidyate nopalabhyate • kuto rūpapraṇidhānādhivacanam  
bodhisatvo bhaviṣyati • yāvat kuto vijñānapraṇihitādhivacanam bodhisatvo  
bhaviṣyati • atyantatayā bhagava-  
3 na apraṇihitam saṃvidyate nopalabhyate kuto rūpāpraṇihitādhivacanam  
bodhisatvo bhaviṣyati • yāvat kuto vijñānapraṇihitādhivacanam bodhisatvo  
bhaviṣyati • || bhgavān āha • sādhu sā-  
4 dhu subhūte • evaṃ khalu subhūte bodhisatvena mahāsatvena  
prajñāpāramitāyāṃ caratā rūpādhivacanam upalabhamānena vedanā saṃjñā  
saṃskārā vijñānādhivacanam anupalabhamā  
5 nena • rūpanityādhivacanam anupalabhamānena • yāvad vijñānanyādhivi-  
vacanam anupalabhamānena • rūpānityādhivacanam anupalabhamānena •  
yāvad vijñānānityādhivacanam a-  
6 nupalabhamānena • rūpasukhādhivacanam anupalabhamānena • yāvad  
vijñānasukhādhivacanam anupalabhamānena • rūpaduḥkhādhivacanam  
anupalabhamānena • yāvad vijñānaduḥ-  
7 khādhivacanam anupalabhamānena • rūpātmādhivacanam anupala-  
bhamānena • yāvad vijñānātmādhivacanam anupalabhamānena •  
rūpānātmādhivacanam anupalabhamānena •  
8 yāvad vijñānā<nā>tmādhivacanam anupalabhamānena • rūpāśāntādhivi-  
vacanam anupalabhamānena • yāvad vijñānaśāntādhivacanam  
anupalabhamānena • rūpāśāntādhivacanam anupala-  
9 bhamānena • yāvad vijñānaśāntādhivacanam<sup>79</sup> anupalabhamānena •  
rūpaśunyādhivacanam anupalabhamānena • yāvad vijñānaśunyādhivacanam  
anupalabhamānena • yāvad vijñā-  
10 naśunyādhivacanam anupalabhamā[ne]na • rūpāśunyādhivacanam  
anupalabhamānena • yāvad vijñānāśunyādhivacanam anupalabhamānena •  
rūpanimittā[dhi]vacana-

<sup>79</sup> vijñānaśāntādhivacanam: *Read* vijñānāśāntādhivacanam.

11 m anupalabhamānena • yāvad vijñānanimittādhivacanam anupalabhamānena • rūpānimittādhivacanam anupalabhamānena • yāvad vijñānanimittādhivacanam anupalabhamāne-

12 na • rūpapraṇihitādhivacanam anupalabhamānena • yāvad vijñānapraṇihitādhivacanam anupalabhamānena • rūpāpraṇihitādhivacanam anupalabhamānena • yāva-

13 d vijñānapraṇihitādhivaca[nam anup]alabhamānena • prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyaṃ • yat punaḥ subhūte evaṃ vadasi • nāha(ṃ) taṃ{n} dharmāṃ samanupaśyāmi ya-

## Kj

何況色無相是菩薩義、乃至識亦如是。世尊、色作畢竟不可得、何況色無作是菩薩義、乃至識亦如是」佛告須菩提「善哉、善哉、如是。須菩提、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、色義不可得、受・想・行・識義不可得、乃至無作義不可得、當作是學般若波羅蜜。須菩提、汝言『我不見是法

(LPG 50r)<sup>80</sup> Dhr 164c11~165a1; Mo 12b27~c11; Kj 232b15~c2; Xz(II) 42b9~c18; Xz(III) 453c6~454a8; PvsP(K) I 145.6~147.5; PvsP(D) 115.1~116.3; AdsP(Tib.U) ka 89a5~90a6; AdsP(Tib.S) ka 101a2~102b1; AdsP(Tib.Pk) ni 61a3~62a1; AdsP(Tib.D) ka 67b3~68b1; PvsP(Tib.U) ka 137a2~138b3; PvsP(Tib.S) ka 152b2~154a4; PvsP(Tib.Pk) nyi 115b8~117a3; PvsP(Tib.D) ka 114b7~116a4

1 d uta b(o)dhisatva iti • (na subh)ū(te dharmmo dharmmadhā)[t]u(ṃ)<sup>81</sup> samanupaśyati • na dharmadhātu dharmāṃ samanupaśyati • na subhūte rūpadhātu dharmadhātuṃ samanupaśyati, na dharmadhātū rūpadhā-  
2 tuṃ samanupaśyati • na vedanādhātu dharmadhātuṃ samanupaśyati • na

<sup>80</sup> ŚsP(Gh) 470.8~472.11; ŚsP(Tib.D) ka 308a5~310a3; Xz(I) 199a14~c4.

<sup>81</sup> (na subh)ū(te dharmmo dharmmadhā)[t]u(ṃ): ŚsP(Gh): na subhūte dharmo dharmadhātuṃ, PvsP(K): na hi subhūte dharmo dharmadhātuṃ.

(134)

dharmadhātur vedanādhātuṃ samanupaśyati • na saṃjñādhātur dharmadhātuṃ samanupaśyati • || na dharmadhātu saṃjñādhātuṃ

3 samanupaśyati • || na saṃskāradhātur dharmadhātuṃ samanupaśyati • <na> dharmadhātu saṃskāradhātuṃ samanupaśyati • na vijñādhātur dharmadhātuṃ samanupaśyati • na dharmadhātur vijñādhātuṃ sama-

4 nupaśyati • na cakṣurdhātur dharmadhātuṃ samanupaśyati • || na dharmadhātuś cakṣurdhātuṃ samanupaśyati • yāvan na manodhātur dharmadhātuṃ samanupaśyati • na dharmadhātur manodhātuṃ samanupaśya-

5 ti • na subhūte saṃskṛtadhātur asaṃskṛtadhātuṃ samanupaśyati • nāsaṃskṛtadhātur asaṃskṛtadhātuṃ samanupaśyati • na ca saṃskṛtadhātuvyati-  
tirenkāsaṃskṛtaṃ śakyam prajñāpayi-

6 tum\* nāsaṃskṛtavyatirekeṇa śakyam saṃskṛtadhātuḥ prajñāpayitum\* || evaṃ khalu subhūte bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran na kaṃcid dharmam samanupaśya-

7 ti • asamanupaśyan no trasati na saṃtrasati na saṃtrāsam āpadyate • na cāśya kvacid dharme cittaṇāvaliyate<sup>82</sup> • na vipratīṣārī bhavati mānaṣaṃ tat kasya

8 heto{h}s tathā hi subhūte bodhisatvo mahāsatvo rūpaṃ na samanupaśyati • vedanāṃ saṃjñāṃ saṃskārā vijñānaṃ na samanupaśyati • cakṣur na samanupaśyati • śrotraṃ ghrāṇaṃ

9 jihvāṃ kāyaṃ mano na samanupaśyati • || rūpān na samanupaśyati • śabdagandharasasparśadharmān na samanupaśyati • || rāgaṃ na samanupaśyati • doṣaṃ na samanu-

10 paśyati • mohan na samanupaśyati • avidyān na samanupaśyati • yāvaj jarāmaraṇaṃ na samanupaśyati • ātmānaṃ na samanupaśyati • yāvaj jānakaṃ paśyakaṃ na sama-

---

<sup>82</sup> kvacid dharme cittaṇāvaliyate: *Read* kvacid dharme cittaṇāvaliyate? ŚsP(Gh): kasmimścid dharmme cittaṇāvaliyate, PvP(K): kvacid dharmacittaṇāvaliyate.



11 nupaśyati • kāmadhātum na samanupaśyati • || rūpadhātum na samanupaśyati • ārūpyadhātum na samanupaśyati • śrāvakacittam na samanupaśyati • pratyekabu-

12 ddhacittam na samanupaśyati • bodhicittam na samanupaśyati • śrāvakan na samanupaśyati • pratyekabuddhan na samanupaśyati • || bodhisatvam na samanupaśyati •

13 bodhisatvam na samanupaśyati • bodhisatvadharmān na samanupaśyati • budhan na samanupaśyati • || buddhadharmān na samanupaśyati • bodhin na samanupaśyati • yāva-

## Kj

名菩薩』須菩提、諸法不見諸法。諸法不見法性、法性不見諸法、法性不見地種、地種不見法性、乃至識種不見法性、法性不見識種、法性不見眼色眼識性、眼・色・眼識性不見法性、乃至法性不見意法意識性、意・法・意識性不見法性。須菩提、有爲性不見無爲性、無爲性不見有爲性。何以故、離有爲不可說無爲、離無爲不可說有爲。如是、須菩提、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、於諸法無所見、是時不驚、不畏、不怖、心亦不沒、不悔。何以故。是菩薩摩訶薩不見色・受・想・行・識故、不見眼乃至意、不見色乃至法、不見姪・怒・癡、不見無明乃至老・死、不見我乃至知者・見者、不見欲界・色界・無色界、不見聲聞心・辟支佛心、不見菩薩、不見菩薩法、不見佛、不見佛法、不見佛道。

(LPG 50v)<sup>83</sup> Dhr 165a1~b1; Mo 12c11~24; Kj 232c2~233a1; Xz(II) 42c18~43b8; Xz(III) 454a8~23, 454c5~455a15; PvsP(K) I 147.5~148.33; PvsP(D) 116.3~117.3; AdsP(Tib.U) ka 90a6~91b2; AdsP(Tib.S) ka 102b1~104a2; AdsP(Tib.Pk) ni 62a1~63a1; AdsP(Tib.D) ka 68b1~69b1; PvsP(Tib.U) ka 138b3~139b8; PvsP(Tib.S) ka 154a4~155b7; PvsP(Tib.Pk) nyi 117a3~118a8; PvsP(Tib.D) ka 116a4~117b1

<sup>83</sup> ŚsP(Gh) 472.11~477.1; ŚsP(Tib.D) ka 310a3~312b4; Xz(I) 199c4~200a16.

1 t sarvadharmān na samanupaśyati • sa sarvadharmān na samanupaśyan  
no trasati na saṃtrasati na saṃtrāsam āpadyat(e) • āha • kena kāraṇena  
bhagavan bodhisatvasya [mahā]satvasya prajñā-

2 pāramitāyāṃ carataś cittam nāvaliyate • bhagavān āha • tathā hi  
subhūte bodhisatvo mahāsatvaś cittacaitasikā dharmān nopalabhate nna  
samanupaśyati • || evaṃ khalu subhūte bodhi-

3 satvasya mahāsatvasya prajñāpāramitāyāṃ carataś ci<t>taṃ nāvaliyate na  
saṃliyate • āha • katham bhagavan\* bodhisatvasya mahāsatvasya mano na  
saṃtrāsam āpadyate • bhagavā-

4 n āha • tathā hi subhūte bodhisatvo mahāsatvo manaś ca manodhātuṃ  
nopalabhate na samanupaśyati • || evaṃ khalu subhūte bodhisatvasya  
mahāsatvasya mano na saṃtrāsam āpadyate •

5 evaṃ hi subhūte bodhisatvena mahāsatvena sarvadharmānupalabdā  
prajñāpāramitāyāṃ caritavyam\* || sacet subhūte bodhisatvo mahāsatvaḥ  
prajñāpāramitāyāṃ cara(ṃ)s tāṃ prajñāpārami-

6 tā<ṃ> nopalabhate • taṃ ca bodhisatva<ṃ> taṃ ca bodhisatvanāman  
nopalabhate • tac ca bodhicittaṃ nopalabhate • || eṣaiva bodhisatvasya  
mahāsatvasyāvavādānuśāsānī || © ||

7 prajñāpāramitāyāṃ dvitīyaḥ parivartaḥ<sup>84</sup> || athāyusmān subhūtir  
bhagavantam etad avocat\* dānapāramitāṃ bhagavan paripūrayitukāmena  
bodhisatvena mahāsatvena pra-

8 jñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || evaṃ śīlapāramitāṃ kṣāntipāramitāṃ  
vīryapāramitāṃ dhyānapāramitāṃ prajñāpāramitāṃ paripūrayitukāmena  
bodhisatvena

9 mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || rūpaṃ bhagavan  
parijñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ  
śikṣitavyam\* || vedanāṃ saṃjñā saṃskārān vi-

<sup>84</sup> prajñāpāramitāyāṃ dvitīyaḥ parivartaḥ: ŚsP(Gh): śatasāhasasryaḥ prajñāpāramitāyā dvitīyaḥ parivarttaḥ.

10 jñānaṃ pariñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || cakṣur bhagavan pariñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣita-

11 vyam\* || śrotraṃ ghrāṇaṃ jihvāṃ kāyaṃ manaḥ pariñātukāmena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* rūpaṃ pariñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* ||

12 yāvad dharmā pariñātukāmena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || cakṣurvijñānaṃ pariñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || yāvan manovijñā-

13 naṃ pariñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || cakṣuḥsaṃsparśaṃ pariñātukāmena yāvan manaḥsaṃsparśaṃ pariñātukāmena

14 (b)o(dhisatv)e(na mahāsatvena prajñ)āpāramitāyāṃ<sup>85</sup> śikṣitavyam\* || cakṣuḥsaṃsparśajāṃ vedanāṃ pariñātukāmena yāvan manaḥsaṃsparśajāṃ vedanāṃ pariñātukāme-

## Kj

是菩薩一切法不見故、不驚、不畏、不怖、不沒、不悔」須菩提白佛言「世尊、何因緣故、是菩薩心不沒、不悔」佛告須菩提「菩薩摩訶薩一切心、心數法不可得、不可見。以是故、菩薩摩訶薩心不沒、不悔」「世尊、云何菩薩心不驚、不畏、不怖」佛告須菩提「是菩薩意及意識不可得、不可見。以是故、不驚、不畏、不怖。如是、須菩提、菩薩摩訶薩一切法不可得、故應行般若波羅蜜。須菩提、菩薩摩訶薩一切行處、不得般若波羅蜜、不得菩薩、不得菩薩名、亦不得菩薩心、即是教菩薩摩訶薩」

摩訶般若經卷第二

摩訶般若波羅蜜經卷第三

勸學品第八

<sup>85</sup> (b)o(dhisatv)e(na mahāsatvena prajñ)āpāramitāyāṃ: ŚsP(Gh), PvsP(K): bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ.

爾時須菩提白佛言「世尊、菩薩摩訶薩欲具足檀那波羅蜜、當學般若波羅蜜。欲具足尸羅波羅蜜・羼提波羅蜜・毘梨耶波羅蜜・禪那波羅蜜・般若波羅蜜、當學般若波羅蜜。菩薩摩訶薩欲知色、當學般若波羅蜜。乃至欲知識、當學般若波羅蜜、欲知眼乃至意、欲知色乃至法、欲知眼識乃至意識、欲知眼觸乃至意觸、欲知眼觸因緣生受乃至意觸因緣生受、

(LPG 51r)<sup>86</sup> Dhr 165b1~c3; Mo 12c25~13a8; Kj 233a1~18; Xz(II) 43b8~c13; Xz(III) 455a15~b17; PvsP(K) I 148.33~149.29; PvsP(D) 117.3~118.3; AdsP(Tib. U) ka 91b2~93a1; AdsP(Tib.S) ka 104a2~105b5; AdsP(Tib.Pk) ni 63a1~64a4; AdsP(Tib.D) ka 69b1, 69b3~70b2; PvsP(Tib.U) ka 139b8~143a4; PvsP(Tib. S) ka 155b7~159a5; PvsP(Tib.Pk) nyi 118a8~120a8; PvsP(Tib.D) ka 117b1, 117b3~120a1; IOL San 1492/07 r1~v3

1 na [b](odh)[i](satvena mahāsat)[v](e)na [p]ra(jñāpāramitāyāṃ) ś(i)kṣ(i)-  
tavyam\*<sup>87</sup> || rāgadv(e)ṣamohān prahātukāmena bodhisatvena mahāsatvena  
prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* satkāyadrṣṭiṃ prahātukā-

2 mena vicikitsāṃ śilabrataparāmarśaṃ<sup>88</sup> kāmarāgavyāpādaṃ prahātu-  
kāmena • kāmarāgaṃ rūparāgaṃ ārūpyarāgaṃ parijñātukāmena  
saṃyojanānuśayaparyutthānāni prahātukā-

3 mena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || catura  
āhārān parijñātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ  
śikṣitavyam\* || yāvaca caturō

4 yogaṃś catura oghāṃś caturō granthāṃś catvāry upādānāni • caturō  
viparyāsān prahātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ  
śikṣitavyam\* || daśākuśalāṃ ka-

5 rmapathān prahātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ

<sup>86</sup> ŚsP(Gh) 477.1~484.10; ŚsP(Tib.D) ka 312b4~5, 312b6~318b4; Xz(I) 200a16~c1.

<sup>87</sup> [b](odh)[i](satvena mahāsat)[v](e)na [p]ra(jñāpāramitāyāṃ) ś(i)kṣ(i)tavyam\*: PvsP(K): bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam.

<sup>88</sup> śilabrataparāmarśaṃ: *Read* śilavrataparāmarśaṃ.

śikṣitavyam\* || daśakuśalān karmapathān paripūrayitukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpārami-

6 tāyāṃ śikṣitavyam\* || catvāri dhyānāni paripūrayitukāmena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || evaṃ catvāry apramāṇāni catasra ārūpyasamāpatti catvāry asmṛtyupasthānāni yā-

7 vad āryāṣṭāṅgaṃ mārgaṃ daśatathāgatābalāni yāvad aṣṭādaśāveṇikān buddhadharmān pariññātukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyaṃ • || bodhyaṅgasamā-

8 dhim samāpatukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* yatra prathamaddhyānā nirodhaḥ<sup>89</sup> samāpadyate • nirodhā dvitīyaṃ dhyānaṃ samāpadyate • evaṃ yāva-

9 d naivasamjñānāsamjñāyatanaṃ samāpadyate naivasamjñānā-samjñāyātanaṃ vyutthāya nirodhaḥ samāpadyata iti • || siṃhavikṛīḍitaṃ samādhim samāpattukāmena bodhisatvena mahāsa-

10 tvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || siṃhavijṛṃbhitam samādhim samāpattukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || yāvāt sarvasamādhimukhadhā-

11 raṇīmukhāni pratilabdhuḥkāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || śūraṅgamaṃ samādhim ratnamudrāṃ samādhim candraprabhaṃ samādhim candradhvajaketuṃ sa-

12 mādhiṃ sarvadharmamudrāgatam samādhim avalokitamudrāṃ samādhim dharmadhātuniyatam samādhim niyatadhvajaketuṃ samādhim • vajropamaṃ samādhim sarvadharmapraveśamukhaṃ samā-

13 dhim samādhirājam samādhim\* rājamudrāṃ samādhim • valavyūhaṃ samādhim • samudgatam samādhim\* • sarvadharmaniruktiniyatapraveśam samādhim • sarvadharmajñānādhivāsanapraveśam

## Kj

<sup>89</sup> prathamaddhyānā nirodhaḥ: ŚsP(Gh): prathamadhyānanirodhaḥ.

當學般若波羅蜜。欲斷婬・怒・癡、當學般若波羅蜜。菩薩摩訶薩欲斷身見・戒取・疑・婬欲・瞋恚・色愛・無色愛、調慢・無明等一切結使及纏、當學般若波羅蜜。欲斷四縛・四結・四顛倒、當學般若波羅蜜、欲知十善道、欲知四禪、欲知四無量心・四無色定・四念處乃至十八不共法、當學般若波羅蜜。菩薩摩訶薩欲入覺意三昧、當學般若波羅蜜。欲入六神通、九次第定、超越三昧、當學般若波羅蜜。欲得師子遊戲三昧、當學般若波羅蜜。欲得師子奮迅三昧、欲得一切陀羅尼門、當學般若波羅蜜。菩薩摩訶薩欲得首楞嚴三昧・寶印三昧・妙月三昧・月幢相三昧・一切法印三昧・觀印三昧・畢法性三昧・畢住相三昧・如金剛三昧・入一切法門三昧・三昧王三昧・王印三昧・淨力三昧・高出三昧・必入一切辯才三昧・入諸法名

(LPG 51v)<sup>90</sup> Dhr 165c3~166a8; Mo 13a8~27; Kj 233a18~b9; Xz(II) 43c13~44a13; Xz(III) 455b17~c18; PvsP(K) I 149.29~151.5; PvsP(D) 118.3~119.16; AdsP(Tib.U) ka 93a1~94a7; AdsP(Tib.S) ka 105b5~107a4; AdsP(Tib.Pk) ni 64a4~65a5; AdsP(Tib.D) ka 70b2~71b2; PvsP(Tib.U) ka 143a4~144b3; PvsP(Tib.S) ka 159a5~160b7; PvsP(Tib.Pk) nyi 120a8~122a4; PvsP(Tib.D) ka 120a1~121a4; IOL San 1492/07 v3~6

1 samādhim\* daśadigvyavalokitaṃ samādim\* sarvadharmamukhamudrāṃ samādhim\* sarvadharmāsaṃpramo[ṣ]aṃ samādhim • sarvadharmasamavasara[ṇā](kā)ramudraṃ sa[mā]-

2 dhim • ākāśasthānasthitaṃ samādhim\* trimaṇḍalapariśuddhaṃ samādhim\* acyutābhijñāṃ samādhim\* pātragata(ṃ) samādhim\* dhvajāgrakeyūraṃ samādhim\* sarvakleśanirdhanaṃ samādhim\* catu-

3 rmārabalanirākaraṇaṃ samādhim\* jñānolkāṃ samādhim\* daśabalalodgataṃ samādhim\* ākāśasaṃgavimuktinirūpalepaṃ samādhim\* etāni cānyāni ca samādhimukhāni pratila-

4 bdhukāmena bodhisatvena mahāsatvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\* || punar aparaṃ bhagavan bodhisatvena mahāsatvena sarvasatvānām abhiprāyān\*

<sup>90</sup> ŚsP(Gh) 484.10~487.16; ŚsP(Tib.D) ka 318b4~321b2; Xz(I) 200c1~22.

paripūrayitukāmena prajñā[pā]-

5 ramitāyāṃ śikṣitavyam\* || punar aparaṃ bhagavan bodhisatvena  
mahāsatvena sarvakuśalamūlāni paripūrayati yaiḥ kuśalamūlaiḥ paripūrṇair  
nāpāyeṣu patati na ca hīna-

6 kuleṣūpapadyate • na ca śrāvakahūmau na pratyekabuddhabhūmau tiṣṭhati  
• na ca bodhisatvamūrdhāmaṃ patati • || athāyusmāc chāradvatīputra  
āyusmantaṃ subhūtiṃ etad avocat\* katham ā-

7 yuṣman subhūte bodhisatvo mahāsatvo mūrdhāmaṃ patati • || evam ukte  
āyusmān subhūtir āyusmantaṃ śāradvatīputram etad avocat\* yad āyusmaṃ  
chāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ

8 anupāyakauśalena ṣaṭṣu pāramitāsu caraṃty anupāyakauśalena  
śunyatānimitṭapraṇihitān samādhin āgamyā naiva śrāvakahūmau na  
pratyekabuddhabhūmau patati naiva [bo]-

9 dhisatvanyāmaṃ ākramaty ayam ucyate bodhisatvasya mahāsatvasyāmaḥ  
āha • kena kāraṇenāyusman subhūte ayam bodhisatvasya mahāsatvasyāma  
subhūtir āha • āma ity ā-

10 yuṣmaṃ chāradvatīputrocyate bodhisatvasya mahāsatvasya yad uta  
dharmatṛṣṇāḥ āha • katamāyusman subhūte dharmatṛṣṇā subhūtir āha •  
ihāyusmaṃ chāradvatīputra bodhisatvo

11 mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ caran rūpaṃ ś[u]nyam ity abhiniviśate  
(')dhitiṣṭhati saṃjānāti vedanāṃ saṃjñā saṃskārā vijñānaṃ śunyam ity  
abhiniviśate (')dhitiṣṭhati saṃjānāti • iya-

12 [m] ucyate [ā]yuṣmaṃ chāradvatīputra bodhisatvasyā<sup>91</sup> mahāsatvasyā-  
nulomikī dharmatṛṣṇā āmaḥ || punar aparam āyusmaṃ chāradvatīputra  
bodhisatvo mahāsatvo rūpaṃ anityam ity a-

13 bhiniviśate ('dh)i(t)i(ṣṭha)[t]i saṃjānā[t]i • vedanāṃ saṃjñā saṃskārā  
vijñāna{ṃ}m anityam ity abhiniviśate (')dhitiṣṭhati saṃjānāti • evaṃ [rū]paṃ

<sup>91</sup> bodhisatvasyā: *Read* bodhisatvasya. ŚsP(Gh): bodhisatvasya.

(142)

duḥkham iti • yāvad vijñānaṃ duḥkham iti • rūpam anā<sup>92</sup>-

14 /// (y)[ā][v](ad v)i(jñ)ānam a[n]ātmeti rūpaṃ śāntam iti yāvad vijñānaṃ  
śāntam iti • rūpaṃ śūnyam iti yāvad vijñānaṃ śūnyam iti • rūpam ānimi-

## Kj

三昧・觀十方三昧・諸陀羅尼門印三昧・一切法不忘三昧・攝一切法聚印三昧・  
虛空住三昧・三分清淨三昧・不退神通三昧・出鉢三昧・諸三昧幢相三昧・欲得  
如是等諸三昧門、當學般若波羅蜜。復次、世尊、菩薩摩訶薩欲滿一切衆生願、  
當學般若波羅蜜、欲得具足如是善根、常不墮惡趣、欲得不生卑賤之家、欲得不  
住聲聞・辟支佛地中。欲得不墮菩薩頂者、當學般若波羅蜜」爾時、慧命舍利弗  
問須菩提「云何爲菩薩摩訶薩墮頂」須菩提言「舍利弗、若菩薩摩訶薩不以方便  
行六波羅蜜、入空・無相・無作三昧、不墮聲聞・辟支佛地、亦不入菩薩位、是  
名菩薩摩訶薩法生故、墮頂」舍利弗問須菩提「云何名菩薩生」須菩提答舍利弗  
言「生名法愛」舍利弗言「何等法愛」須菩提言「菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、色  
是空受念著、受・想・行・識是空受念著。舍利弗、是名菩薩摩訶薩順道法愛生。  
復次、舍利弗、菩薩摩訶薩色是無相受念著、受・想・行・識、是無相受念著。

(LPG 52r)<sup>93</sup> Dhr 166a8~b4; Mo 13a27~b14; Kj 233b9~c6; Xz(II) 44a13~44b19;  
Xz(III) 455c18~456a23; PvsP(K) I 151.5~152.23; PvsP(D) 119.16~121.1;  
AdsP(Tib.U) ka 94a7~95a8; AdsP(Tib.S) ka 107a4~108b4; AdsP(Tib.Pk)  
ni 65a5~66a3; AdsP(Tib.D) ka 71b2~72a7; PvsP(Tib.U) ka 144b4~146a3;  
PvsP(Tib.S) ka 160b7~162a7; PvsP(Tib.Pk) nyi 122a4~123a6; PvsP(Tib.D) ka  
121a4~122a6

1 (ttam iti yāva)[d v](i)[jñā](nam ānimittam i)ti<sup>94</sup> • rūpam apra(ṇihitam i)t(i)<sup>95</sup>  
[y](āvad) v(i)jñāna(m apraṇi)hitam iti • abhinivīṣate (')dhitiṣṭhati saṃjānāti •

<sup>92</sup> rūpam anā-: ŚsP(Gh): rūpam anātmeti.

<sup>93</sup> ŚsP(Gh) 487.16~490.1; ŚsP(Tib.D) ka 321b2~323a1; Xz(I) 200c22~201b11.

<sup>94</sup> (ttam iti yāva)[d v](i)[jñā](nam ānimittam i)ti: ŚsP(Gh): (rūpam ānimi)ttam ity.

<sup>95</sup> rūpam apra(ṇihitam i)t(i): PvsP(K): apraṇihitam iti, ŚsP(Gh): rūpam apraṇihitam ity.



iyam ucyate āyusmaṃc chāradvatīputra bodhisatvasya  
 2 (mahā)satvasyānulomikī dharmatṛṣṇā āmaḥ || idaṃ rūpaṃ prahātavyam iti •  
 yāvad idaṃ vijñānaṃ prahātavyam anena rūpaṃ prahātavyam iti • yāvad  
 anena vijñānaṃ prahātavyam iti • || idaṃ duḥkhaṃ pa-  
 3 r(i)jñeyam anena duḥkhaṃ pariñeyam ayaṃ samudayaḥ prahātavyo (')nena  
 samudayaḥ prahātavyaḥ ayaṃ nirodhaḥ sākṣātkartavyo (')nena nirodhaḥ  
 sākṣātkartavyaḥ ayaṃ mārgo bhāvayitavyo (')nena mārgo  
 4 bhāvayitavyaḥ ayaṃ saṃkleśa idaṃ vyavadānam iti • || ime dharmāḥ  
 sevityā ime dharmā na sevityā iha bodhisatvena caritavyam i«ti»<sup>96</sup> na  
 caritavyam : ayaṃ bodhisatvasya mārgo (')yan na mārgaḥ iyaṃ bo-  
 5 dhisatvasya śikṣā iyaṃ aśikṣā iyaṃ bodhisatvasya dānapāramitā iyaṃ na  
 dānapāramitā • yāvad iyaṃ prajñāpāramitā iyaṃ na prajñāpāramitā • idaṃ  
 bodhisatvasyopāyakaśalam ida-  
 6 m anupāyakaśalam\* ayaṃ bodhisatvasya nyāma • ayaṃ bodhisatvasyāmaḥ  
 sacce chāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ carann  
 imān dharmān evam abhiniviśate (')dhitiṣṭha-  
 7 ti saṃjānāti • || iyaṃ bodhisatvasya mahāsatvasyānulomikī dharmatṛṣṇā  
 āmaḥ || āha • katama āyusman subhūte bodhisatvasya mahāsatvasya nyāmaḥ  
 subhūtir āha • ihāyu-  
 8 ṣmac chāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyāṃ  
 caran nādhyātmaśunyatayā bahirdhāśunyatāyāṃ samanupaśyati • na  
 bahirdhāśunyatayāṃ addhyātmaśunyatāṃ samanupaśyati • nādhyā-  
 9 ttabahirdhāśunyatayāṃ śunyatāśunyatāṃ samanupaśyati • na  
 śunyatāśunyatāyāṃ adhyāttabahirdhāśunyatāṃ samanupaśyati • na  
 śunyatāśunyatāyāṃ mahāśunyatāṃ samanupaśyati • na mahāśu-  
 10 nyatāyāṃ śunyatāśunyatāṃ samanupaśyati • || na mahāśunyatāyāṃ  
 paramārthaśunyatāṃ samanupaśyati • na paramārthaśunyatāyāṃ

<sup>96</sup> i«ti»: *Read* i«ha». PvsP(K): iha caritavyam iha na caritavyam, ŚsP(Gh): iha bodhisattvena mahāsattvena caritavyam iha na caritavyam iti.

(144)

mahāśūnyatām samanupaśyati • na paramārthaśūnyatā-

11 yām saṃskṛtaśūnyatām samanupaśyati • || na saṃskṛtaśūnyatāyām  
paramārthaśūnyatām samanupaśyati • na saṃskṛtaśūnyam<sup>97</sup>  
asaṃskṛtaśūnyatām samanupaśyati • nāsaṃskṛtaśūnyatāyā saṃskṛ-

12 {taśūnyatām samanupaśyati • na paramārthaśūnyatāyām  
saṃskṛtaśūnyatām samanupaśyati • || na saṃskṛtaśūnyatāyām  
paramārthaśūnyatām samanupaśyati • na saṃskṛtaśūnyam asaṃskṛ-

13 taśūnyatām samanupaśyati • nāsaṃskṛtaśūnyatāyā saṃskṛ}taśūnyatām  
samanupaśyati • || nāsaṃskṛtaśūnyatāyām anavarāgraśūnyatām  
samanupaśyati • nānavarāgraśūnyatāyām a-

14 saṃskṛtaśūnyatām samanupaśyati • nānavarāgraśūnyatāyām  
avakāraśūnyatām samanupaśyati • || nāvakāraśūnyatāyām  
avarāgraśūnyatām samanupaśyati • nānavakāraśūnyatāyām

## Kj

色是無作受念著、受·想·行·識是無作受念著。色是寂滅受念著、受·想·行·  
識是寂滅受念著。色是無常乃至識、色是苦乃至識、色是無我乃至識受念著。是  
爲菩薩順道法愛生、是苦應知、集應斷、盡應證、道應修、是垢法、是淨法、如  
應近、是不應近、是菩薩所應行、是非菩薩所應行、是菩薩道、是非菩薩道、是  
菩薩學、是非菩薩學、是菩薩檀那波羅蜜乃至般若波羅蜜、是非菩薩檀那波羅蜜  
乃至般若波羅蜜、是菩薩方便、是非菩薩方便、是菩薩熟、是非菩薩熟。舍利弗、  
菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、是諸法受念著、是爲菩薩摩訶薩順道法愛生」舍利弗  
問須菩提「云何名菩薩摩訶薩無生」須菩提言「菩薩摩訶薩行般若波羅蜜時，內  
空中不見外空、外空中不見內空、外空中不見內外空、內外空中不見外空、內外  
空中不見空空、空空中不見內外空、空空中不見大空、大空中不見空空、大空中  
不見第一義空、第一義空中不見大空、第一義空中不見有爲空、有爲空中不見第  
一義空、有爲空中不見無爲空、無爲空中不見有爲空、無爲空竟空中不見無始空、  
無始空中不見畢竟空、無始空中不見散空、散空中不見無始空、散空中不

<sup>97</sup> saṃskṛtaśūnyam: *Read* saṃskṛtaśūnyatāyām. ŚsP(Gh): saṃskṛtaśūnyatāyām.

(LPG 52v)<sup>98</sup> Dhr 166b4~c4; Mo 13b14~c3; Kj 233c6~29; Xz(I) 44b19~45a2; Xz(II) 456a23~c6; PvsP(K) I 152.24~154.7; PvsP(D) 121.1~122.5; AdsP(Tib. U) ka 95a8~96b4; AdsP(Tib.S) ka 108b4~110a4; AdsP(Tib.Pk) ni 66a3~67a4; AdsP(Tib.D) ka 72a7~73a7; PvsP(Tib.U) ka 146a3~148a7; PvsP(Tib.S) ka 162a7~164b7; PvsP(Tib.Pk) nyi 123a6~125a3; PvsP(Tib.D) ka 122a6~124a5; IOL San 1492/08 r1~v6

1 prakṛtiśunyatām samanupaśyati • na prakṛtiśunyatāyām avakāraśunyatām samanupaśyati • na prakṛt(iś)u(n)y(atāyām) svalakṣaṇaśunyatām samanupaśyati • na svalakṣaṇaśunya-

2 tāyām prakṛtiśunyatām samanupaśyati • na svalakṣaṇaśunyatāyām sarvadharmaśunyatām samanupaśyati • na sarvadharmaśunyatāyām svalakṣaṇaśunyatām samanupaśyati • na sarvadha-

3 rmaśunyatāyām svalakṣaṇaśunyatām samanupaśyati • na sarvadharmaśunyatāyā{ṃ}m abhāvasvabhāvaśunyatām samanupaśyati • nābhāvasvabhāvaśunyatāyām sarvadharmaśunyatām sama-

4 nupaśyati • || evaṃ khalv āyusmaṃc chāradvatīputra bodhisatvo mahāsatvaḥ prajñāpāramitāyām caran bodhisatvanyāmam avakrāmati • || punar aparam āyusmaṃc chāradvatīputra bodhisatve-

5 na mahāsatvena prajñāpāramitāyām carataivaṃ śikṣitavyam\* yathā śikṣamāṇena rūpaṃ jñātavyam\* tena ca rūpeṇa na mantavyam\* vedanā saṃjñā saṃskārā vijñānaṃ jñātavyaṃ tayā ca vedana-

6 yā saṃjñayā taiś ca saṃskārais tena ca vijñānena na mantavyam\* cakṣur jñātavyam\* tena ca cakṣuṣā na mantavyam\* yāvan mano jñātavyaṃ tena ca manasā na mantavyam\* rūpaṃ jñātavyaṃ tena ca rūpe-

7 ṇa na mantavyam\* yāvad dharmā jñātavyā taiś ca dharmair na mantavyam\* dānapāramitā jñātavyā tayā ca dānapāramitayā na mantavyam\*

<sup>98</sup> ŚsP(Gh) 490.2~495.13; ŚsP(Tib.D) ka 323a2~326b1; Xz(I) 201b11~202a21.

(146)

yāvat prajñāpāramitā jñātavyā tayā ca prajñāpārami-

8 tayā na mantavyam\* || abhijñā jñātavyās tābhi {jñā} (')bhijñābhir na  
mantavyam\*<sup>99</sup> || na ca cakṣūṃsi jñātavyāni tābhiś ca paṃcabhiś cakṣubhir na  
mantavyam\* smṛtyupasthānāni jñātavyāni • taiś ca smṛtyupasthānair na  
9 mantavyam\* yāvad aṣṭādaśāveṇikā buddhadharmā jñātavyā na ca tair  
aṣṭādaśabhir āveṇikair buddhadharmair ma<n>tavyam || evaṃ khalv  
āyusmaṃ chāradvatīputra bodhisatvena mahāsatvena prajñāpā-

10 ramitāyāṃ caratā tena bodhicittena mantavyam asamasa-citteno-  
dāracittena na mantavyam\* tat kasya hetoḥ tathā hi ta<c> cittam acittam\*  
prakṛticittasya prabhāsvarāḥ āha • kā pu-

11 nar āyusman subhūte cittasya prakṛtiprabhāsvaratāḥ subhūtir āha • yad  
āyusmaṃ chāradvatīputra cittam na rāgeṇa saṃyuktaṃ na viśaṃyuktaṃ •  
na doṣeṇa na mohena saṃyuktaṃ na viśaṃ-

12 (yukta)m\*<sup>100</sup> || na par[yutth]ānair nāvāraṇair na nīvaraṇair nānuśayair  
na saṃyojanair na <dr>ṣṭikṛtair<sup>101</sup> na śrāvaka-pratyekabuddhacittai<sup>102</sup> •  
saṃyuktaṃ na viśaṃyuktaṃ • iyaṃ āyusmaṃ chāradvatīputra bo-

13 (dhisatvasya mahāsatvasya cittasya prakṛ)tiprabhās[varatā]<sup>103</sup> • [ā]ha • kiṃ  
punar āyusmaṃ subhūte asti ta<c> cittam ya<c> cittam acittam\* subhūtir āha •  
kiṃ punar āyusmaṃ chāradvatīputra yā aci-

## Kj

見性空、性空中不見散空、性空中不見諸法空、諸法空中不見性空、諸法空中不見自相空、自相空中不見諸法空、自相空中不見不可得空、不可得空中不見自相空、不可得空中不見無法空、無法空中不見不可得空、無法空中不見有法空、有

<sup>99</sup> abhijñā jñātavyās tābhi {jñā} (')bhijñābhir na mantavyam\*: ŚsP(Gh): abhijñāḥ jñātavyās tābhiś cābhijñābhir na mantavyam.

<sup>100</sup> (yukta)m\*: PvsP(K): (viśaṃ)yuktaṃ.

<sup>101</sup> na <dr>ṣṭikṛtair: PvsP(K): na drṣṭikṛtaiḥ.

<sup>102</sup> śrāvaka-pratyekabuddhacittai •: *Read* śrāvaka-pratyekabuddhacittaiḥ.

<sup>103</sup> (dhisatvasya mahāsatvasya cittasya prakṛ)ti prabhās[varatā]: ŚsP(Gh): (bo)dhisatvasya mahāsatvasya cittasya prakṛtiprabhāsvaratā.

法空中不見無法空、有法空中不見無法有法空、無法有法空中不見有法空。舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、得入菩薩位。復次、舍利弗、菩薩摩訶薩欲學般若波羅蜜、應如是學。不念色・受・想・行・識、不念眼乃至意、不念色乃至法、不念檀那波羅蜜・尸羅波羅蜜・羶提波羅蜜・毘梨耶波羅蜜・禪那波羅蜜・般若波羅蜜、乃至十八不共法。如是、舍利弗、菩薩摩訶薩行般若波羅蜜、得是心不應念不應高、無等等心不應念不應高、大心不應念不應高。何以故。是心・非心、心相常淨故」舍利弗語須菩提「云何名心相常淨」須菩提言「若菩薩知是心相、與姪・怒・癡不合、不離。諸纏・流・縛若諸結使、一切煩惱不合、不離。聲聞・辟支佛心不合、不離。舍利弗、是名菩薩心相常淨」舍利弗語須菩提「有是無心相心不」須菩提報舍利弗言

(LPG 53r)<sup>104</sup> Dhr 166c4~29; Mo 13c3~22; Kj 233c29~234a21; Xz(II) 45a2~29; Xz(III) 456c6~457a20; PvsP(K) I 154.7~155.27; PvsP(D) 122.5~123.12; AdsP(Tib.U) ka 96b4~98a3; AdsP(Tib.S) ka 110a4~111b7; AdsP(Tib.Pk) ni 67a4~68a7; AdsP(Tib.D) ka 73a7~74b1; PvsP(Tib.U) ka 148a7~150a8; PvsP(Tib.S) ka 164b7~167a3; PvsP(Tib.Pk) nyi 125a3~126b6; PvsP(Tib.D) ka 124a5~125b7; IOL San 1492/08 v2~6

1 /// .. st. t. v. ... t. + + + + +

2 ///<sup>105</sup> [y]uṣmaṃc chāradva(tip)utr(a) evam āha • asti ta<c> citta[m] ya<c> cittam a(cittam)<sup>106</sup> āha • kā punar eṣāyuṣman subhū(te acittatā)<sup>107</sup>

3 (su)bhūtir āha • (a)v(i)kārā avikalpā āyuṣmaṃc chāradvatiputra yā

<sup>104</sup> ŚsP(Gh) 495.13~503.17; ŚsP(Tib.D) ka 326b2~332b7; Xz(I) 202a21~c29.

<sup>105</sup> 1 /// .. st. t. v. ... t. + + + + +

2 /// : ŚsP(Gh): ttatā tatrāstītā yā astitā vā nāstītā vā na saṃvidyate nopalabhyate / āha no hidaṃ āyuṣman subhūte / subhūtir āha / saced āyuṣmaṃ chāradvatiputra tatrāstītā yā astitā vā nāstītā vā na saṃvidyate nopalabhyate / api nu yuktas te eṣa paryyanuyogo yadā.

PvP(Gh): ttatā tatrāstītā vā nāstītā vā vidyate vā upalabhyate vā?

śāriputra āha: na khalv āyuṣman subhūte.

subhūtir āha: saced āyuṣman śāriputra tatrācittatāyām astitā vā nāstītā vā na vidyate vā nopalabhyate vā, api nu te yukta eṣa paryyanuyogaḥ, yad ā-

<sup>106</sup> a(cittam): PvP(K): acittam iti.

<sup>107</sup> subhū(te acittatā): ŚsP(Gh), PvP(K): subhūte acittatā.

sarvadharmāṇaṃ tathatā iyaṃ ucyate acintyā acittatā • āha • ki(ṃ) punar  
āyusman subhūte yathaiva cittam avi(kāram avi)-<sup>108</sup>

4 kalpaṃ • tathaiva rūpaṃ apy avikāram avikalpaṃ\* tathaiva vedanā saṃjñā  
saṃskārā vijñānam apy avikāram avikalpaṃ\* yathaiva cittam avikāram  
avikalpaṃ tathaiva skandhadhātāvātanapra(tītyasamu)-<sup>109</sup>

5 tṛpādapāramitābhijñāsmṛtyupasthānasamyakprahāṇardhipādendriyabala-  
bodhyaṃga mārgavalavaiśāradyaṃpratisaṃvidāveṇīkābuddhadharmā<sup>110</sup> bodhir avikārā  
avikalpaḥ subhūtir āha • eva(m etad āyu)-<sup>111</sup>

6 ṣmaṃc chāradvatīputra yathaiva cittam avikāram avikalpaṃ tathaiva  
rūpaṃ avikāram avikalpaṃ • tathaiva vedanā saṃjñā saṃskārā vijñānam  
avikāram avikalpaṃ\* yathaiva cittam avikāram a(vikalpaṃ)<sup>112</sup>

7 {va} tathaiva bodhir avikārā avikalpaḥ || athāyusmāṃc chāradvatī[putra]  
āyusmataḥ subhūte sādhu-kāram adāt\* sādhu sādhu āyusman subhūte  
tadyathāpi nāma tvam bhagavataḥ putra [au](raso mukha)-<sup>113</sup>

8 to jāto dharmajo dharmanirmīto dharmadāyādo nāmiśādāyādaḥ  
pratyakṣacakṣurdharmeṣu kāyasākṣī • yathāpi tad araṇāvihāriṇām  
agrātāyāṃ bhagavatā nirdiṣṭasyāyam uddeśa (evam āyu)-<sup>114</sup>

9 ṣman subhūte bodhisatvena mahāsātvena prajñāpāramitāyāṃ śikṣitavyam\*  
ato bodhisatvo mahāsātvaḥ avāivartika upaparīkṣitavyaḥ avirahitāś ca  
bodhisatvo mahāsātvo pra[jñ](āpāramita)-<sup>115</sup>

10 yā [v]editavyāḥ śrāvakabhūmāv api śikṣitukāmenāyusman subhūte  
iyaṃ eva prajñāpāramitā prayatnataḥ śrotavyodgrahitavyā dhārayitavyā

<sup>108</sup> avi(kāram avi): ŚsP(Gh), PvP(K): avikāram avi.

<sup>109</sup> skandhadhātāvātanapra(tītyasamu)-: PvP(K): pratītyasamu(tpādaḥ).

<sup>110</sup> ° valavaiśāradyaṃpratisaṃvidāveṇīkābuddhadharmā: *Read* ° balavaiśāradyaṃpratisaṃvidāveṇīkā-  
buddhadharmā.

<sup>111</sup> eva(m etad āyu)-: ŚsP(Gh), PvP(K): evam etad āyu-.

<sup>112</sup> a(vikalpaṃ): ŚsP(Gh): avikalpaṃ.

<sup>113</sup> [au](raso mukha)-: ŚsP(Gh), PvP(K): auraso mukha-.

<sup>114</sup> (evam āyu)-: ŚsP(Gh), PvP(K): evam āyu-.

<sup>115</sup> bodhisatvo mahāsātvo pra[jñ](āpāramita)-: ŚsP(Gh): bodhisattvo mahāsattvaḥ  
prajñāpāramitāyāṃ veditavyaḥ, PvP(K): prajñāpāramitayā veditavyaḥ.

vācayitavyā paryavāptavyā yoniśa(ś ca manasi)-<sup>116</sup>

11 kartavyāḥ pratyekabuddhabhūmāv api śikṣitukāmeneyam eva  
prajñāpāramitā śrotavyodgrahitavyā dhārayitavyā vācayitavyā  
paryavāptavyā yoniśaś ca manasikartavyāḥ bodhi .. (tvabhūmāv a)-<sup>117</sup>

12 pi śikṣitukāmena bodhisatvena mahāsatveneyam eva prajñāpāramitā  
śrotavyodgrahitavyā dhārayitavyā vācayitavyā paryavāptavyā yoniśaś ca  
manasikartavyāḥ tat kasya he(toḥ atra hi)<sup>118</sup>

13 prajñāpāramitāyāṃ vistareṇa trīṇi yānāny upadiśyante • yatra  
bodhisatvai mahāsatvaiḥ śrāvakaḥ pratyekabuddhaiś ca śikṣitavyam\* || ◎ ||  
prajñāpāramitāyā{h}s tritīyaḥ pariva(rtaḥ ||)<sup>119</sup>

## Kj

「無心相中、有心相、無心相、可得不」舍利弗言「不可得」須菩提言「若不可得、不應問有是無心相心不」舍利弗復問「何等是無心相」須菩提言「諸法不壞・不分別、是名無心相」舍利弗復問須菩提「但是心不壞・不分別、色亦不壞不分別、乃至佛道亦不壞・不分別耶」須菩提言「若能知心相不壞・不分別、是菩薩亦能知色乃至佛道不壞・不分別」爾時、慧命舍利弗讚須菩提言「善哉、善哉。汝真是佛子。從佛口生、從見法生、從法化生。取法分、不取財分、法中自信身得證。如佛所說得無諍三昧中、汝最第一、實如佛所舉。須菩提、菩薩摩訶薩應如是學般若波羅蜜、是中亦當分別知。菩薩如汝所說行、則不離般若波羅蜜。須菩提、善男子・善女人欲學聲聞地、亦當應聞般若波羅蜜、持・誦・讀・正憶念如說行。欲學辟支佛地、亦當應聞般若波羅蜜、持・誦・讀・正憶念如說行。欲學菩薩地、亦當應聞般若波羅蜜、持・誦・讀・正憶念如說行。何以故。是般若波羅蜜中廣說三乘、是中菩薩摩訶薩・聲聞・辟支佛當學。

<sup>116</sup> yoniśa(ś ca manasi)-: ŚsP(Gh): yoniśaś ca manasi.

<sup>117</sup> bodhi .. (tvabhūmāv a)-: *Read* bodhisatvabhūmāv a, PvP(K), ŚsP(Gh): bodhisattvabhūmāv a.

<sup>118</sup> he(toḥ atra hi): ŚsP(Gh): hetoḥ / atra hi, PvP(K): hetoḥ? tathā hy atra.

<sup>119</sup> prajñāpāramitāyā{h}s tritīyaḥ pariva(rtaḥ ||): ŚsP(Gh): śatasāhasryāṃ prajñāpāramitāyāṃ trīṇi parivarttaḥ //